

ハマタイトネットワーク



● 近畿カンパニー

〒550-0001	大阪市西区土佐堀1-4-11 (金島土佐堀ビル)	TEL.06-6446-6704
兵庫支店	〒675-0115 加古川市平岡町一色591-1	TEL.079-435-1843
和歌山支店	〒641-0007 和歌山市小雑賀3-5-15	TEL.073-424-7216
高松支店	〒761-0301 高松市林町2510-1	TEL.087-867-7030
松山支店	〒790-0011 松山市千舟町8-78-4	TEL.089-941-3765
高知支店	〒780-0081 高知市北川添10-20	TEL.088-883-5681

● 中国カンパニー

〒733-0035	広島市西区南観音6-7-32	TEL.082-233-8951
岡山支店	〒700-0927 岡山市北区西古松2-3-8	TEL.086-805-2681
山口支店	〒745-0851 周南市大字徳山6750-22	TEL.0834-31-8885
福山営業所	〒721-0974 福山市東深津町3-5-6	TEL.0849-28-3200

● 九州カンパニー

〒810-0022	福岡市中央区薬院1-7-4	TEL.092-711-8535
北九州支店	〒800-0365 京都郡刈田町大字刈田3787-66 (刈田臨空産業団地内)	TEL.093-434-9004
長崎支店	〒851-2128 西彼杵郡長与町嬉里郷378-3	TEL.095-887-4744
大分支店	〒870-0905 大分市向原西1-8-2	TEL.097-558-5656
南九州支店	〒861-8035 熊本市東区御領6-8-20	TEL.096-380-5811
沖縄支店	〒900-0002 沖縄県那覇市曙3-11-7	TEL.098-860-9086

● 北海道カンパニー

〒060-0041	札幌市中央区大通東7-12	TEL.011-241-5115
釧路支店	〒084-0904 釧路市新富士3-7-12	TEL.0154-51-8481
釧路支店帯広	〒080-0013 帯広市西三条南17-1-1 ミキコーボ1F	TEL.0155-25-4346
苫小牧支店	〒053-0007 苫小牧市船見町2-11-1	TEL.0144-34-2941
旭川営業所	〒078-8348 旭川市東光8条3-3-10	TEL.0166-32-5344
函館営業所	〒040-0077 函館市吉川町6-5	TEL.0138-41-1265

● 東北カンパニー

〒984-0002	仙台市若林区卸町東5-1-6	TEL.022-390-1733
郡山支店	〒963-0101 郡山市安積町日出山1-16	TEL.024-942-2440
八戸支店	〒031-0077 八戸市長根4-8-3	TEL.0178-45-0111
北上営業所	〒024-0072 北上市北鬼柳19-85-1 (和江ビル2F)	TEL.0197-77-5661

● 関東カンパニー

〒105-8685	東京都港区新橋5-36-11 (浜ゴムビル)	TEL.03-5400-4880
茨城支店	〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町260-3	TEL.029-304-5266
栃木支店	〒323-0029 小山市城北3-2-9	TEL.0285-23-2944
群馬支店	〒370-0014 高崎市元島名町1113-1	TEL.027-353-5221
鹿島営業所	〒314-0025 鹿嶋市下埞1175-2	TEL.0299-82-0661
長野支店	〒381-2223 長野市里島77	TEL.026-293-5541
千葉支店	〒264-0036 千葉市若葉区殿台町90-1 (式田ビル)	TEL.043-287-7400
新潟支店	〒950-0953 新潟市中央区大島169番地	TEL.025-285-2141

● 中部カンパニー

〒460-0012	名古屋市中区千代田4-23-2 (第五富士ビル)	TEL.052-331-9068
北陸支店	〒939-8214 富山市黒崎270	TEL.076-421-7290
浜松支店	〒433-8118 浜松市中区高丘西2-4-17	TEL.053-439-5101
静岡営業所	〒422-8063 静岡市駿河区馬淵3-2-25 (T・K BLD 2F)	TEL.054-289-7123

※商品等につきましては、各地域の支店・営業所までお問い合わせください。

横浜ゴムMBジャパン株式会社

〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 (浜ゴムビル)
TEL.03-5400-4865
<http://www.yrc.co.jp/hamatite/>

※本カタログ記載商品は改良のため、仕様は予告なく変更させていただく場合がありますので、
あらかじめご了承ください。



私たちは、環境貢献活動に
取り組むとともに環境に配慮した
素材の利用を推進しています。



YOKOHAMA

CATALOG No. SC-036

URBAN ROOF

ウレタン塗膜防水材 《アーバンルーフ》



Hamatite

環境貢献企業へ ハマタイト

横浜ゴムグループの環境GD(グランドデザイン)100では、「社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする」を規範として、トップレベルの環境貢献企業になることを掲げています。

私たちは、モノづくりの企業として、環境貢献商品の創出と拡大に努めると同時に、事業プロセスにおける環境負荷の低減にも引き続き取り組んでいきます。

環境貢献商品については、「地球温暖化防止」「資源再生・循環」「省資源」「安全・快適性」の4項目で評価を行い、2017年度までにすべての商品を環境貢献商品にすることを目指しており、当社は環境保全の国際規格である「ISO14001」の認証を国内全事業所と主要グループ会社で取得しております。

昨今、建築関連資材において環境に配慮した材料のニーズが高まる中、断熱性能を有した比重1.0の環境対応型2成分形ウレタン塗膜防水材ハマタイト「アーバンルーフNX」の開発に成功し、汎用品として販売しております。

次世代を担うNXシリーズは、トルエン、キシレン等の有機溶剤を取り除くことにより人体、環境への配慮や、臭気の低減を図っており、また、低比重化によりCO₂排出量の削減や作業者への負担軽減にも貢献します。

ウレタン防水材シリーズ<アーバンルーフ>。横浜ゴムは、1965年にわが国初のウレタン防水材を開発して以来、長年蓄積した高分子化学技術を基に、時代のニーズに対応した信頼性の高い商品をラインナップしてきました。今後も、たゆまぬ研究開発活動を通して、更に環境に配慮した材料、工法で応えていきます。

ラインナップ



アーバンルーフNX
(2成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021 高伸長型) 平場用



アーバンルーフNX-T
(2成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021 高伸長型) 立上り用



アーバンルーフEU-ONE
(1成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021 高伸長型) 平場用

	NX	NX-T	EU-ONE
特定化学物質対策品			○
標準仕様(厚生労働省室内空気室指針物質非含有)	○	○	○
BTXフリー	○	○	○
比重	1.0	1.1	1.3

URBAN ROOF

CONTENTS

ハマタイト アーバンルーフNXのコンセプト	02	アーバンルーフ通気緩衝工法 HVS-NX工法	18	アーバンルーフ露出アスファルト改修工法 通気緩衝 HS工法	29	施工上の注意点	50
アーバンルーフ材料環境性能	04	アーバンルーフ通気緩衝工法 HVS-EU工法	19	アーバンルーフ 機械式固定工法 KUM工法	30	維持管理のお願い	54
おすすめの防水工法(施工部位)	06	アーバンルーフ通気緩衝工法 UM-NX工法	20	KUM工法の耐風圧性	31	露出防水層の使用上の注意	54
アーバンルーフ工法の特徴	08	アーバンルーフ通気緩衝工法 UM-EU工法	21	各部の納り図	32	取扱い上の注意事項	55
工法名の読み方	09	アーバンルーフ通気緩衝工法 CV-F NX工法	22	防水材料	34	アーバンルーフ製品一覧	56
屋上・ルーフバルコニー① 工法特徴	10	アーバンルーフスポーツ対応(密着)工法 SP工法	23	プライマー・接着剤	36		
屋上・ルーフバルコニー② 工法特徴	11	アーバンルーフ室内密着工法 ID工法	23	トップコート	38		
屋上・ルーフバルコニー③ 工法特徴	12	アーバンルーフ密着工法 NX工法	24	副資材	40		
ベランダ・開放廊下・階段室 工法特徴	13	アーバンルーフ密着工法 EU工法	25	材料技術資料	42		
アーバンルーフX工法 X-1工法	14	アーバンルーフベランダ工法 NXB工法	26	施工手順(例:通気緩衝CV-F工法)	44		
アーバンルーフX工法 X-2工法 / X-2立上り工法	16	アーバンルーフベランダ工法 EUB工法	27	施工手順(例:通気緩衝UM工法)	46		
アーバンルーフ都市再生機構仕様(平成29年度版準拠)	17	アーバンルーフ立上り工法	28	施工手順(例:通気緩衝HVS工法)	48		

ハマタイト アーバンルーフ ウレタン塗膜防水材

ハマタイトアーバンルーフのウレタン塗膜防水材は、横浜ゴムが永年培った高分子化学配合技術を駆使し開発された高性能防水材です。有害化学物質の使用を抑えた環境対応品です。
2成分形のNXシリーズ、1成分形のEU-ONEの製品ラインナップで防水ニーズにお応えします。

ハマタイト アーバンルーフNXのコンセプト

特徴

環境

1.低比重(硬化物比重1.0)



低比重化を実現することにより、1缶当たりの質量が軽くなり、輸送効率を上げることでCO₂排出量の削減に貢献します。現場搬入や持ち運びも楽になります。

※2t車を使用し、3,000Lのウレタン防水剤を50km輸送した場合、一般的な防水材の輸送時と比べて約21.9tのCO₂排出量を削減します。

(環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(ver3.5、平成26年6月)のトンキ口法を参考に、一般的な防水材の比重を1.3とした場合)

2.温暖化対策(省エネ)



一般的なウレタン塗膜防水材を使用した場合と比べて、防水材自身が断熱機能を有しているため、省エネおよびヒートアイランド対策に貢献します。また高反射(遮熱)トップコートを採用することで、さらに断熱効果を発揮します。

3.脱BTX(環境対応型)



有害な有機溶剤「ベンゼン」・「トルエン」・「キシレン」等を含んでおりません。*

※「労働安全衛生法施行令 別表6-2」に規定されている溶剤

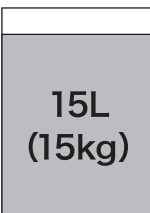
1 施工に必要な缶数が減ってラクに！

一般的な比重(1.3)と比べて低比重(1.0)だから、同じ重量でも1缶あたりの容量が多いので、使う缶数が減ります。

だから保管のための場所も減らせて持ち運びもラクになります。

1缶の実質使用容量UPと保管・運搬もラク、産廃も削減

比重1.0の量



比重1.3の量



※イメージ

2 塗布量1.0kg/m²で塗膜厚1.0mm

一般的な比重(1.3)と比べて低比重(1.0)だから、1.0kg/m²で塗膜厚1.0mm。計算が容易で、ムダなくミスなく使えます。

施工面積に対して使う量の計算管理がし易い

3 環境対応型が標準品

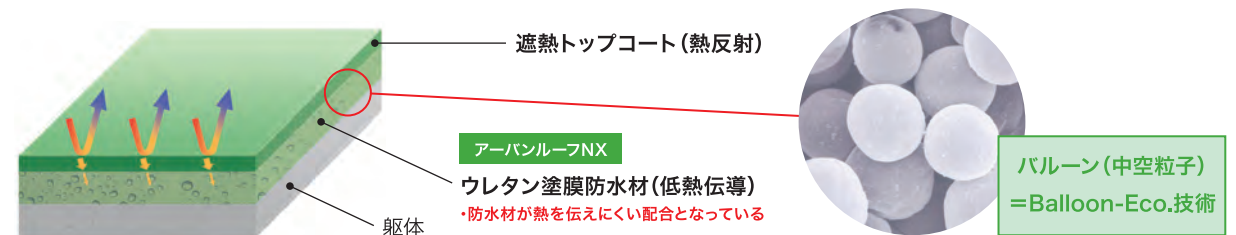
汎用品が環境対応型でコストも有利。

遮熱・断熱効果

アーバンルーフNXは、一般的なウレタン塗膜防水材と比較して、断熱効果を有しているため、省エネ、ヒートアイランド対策に貢献致します。

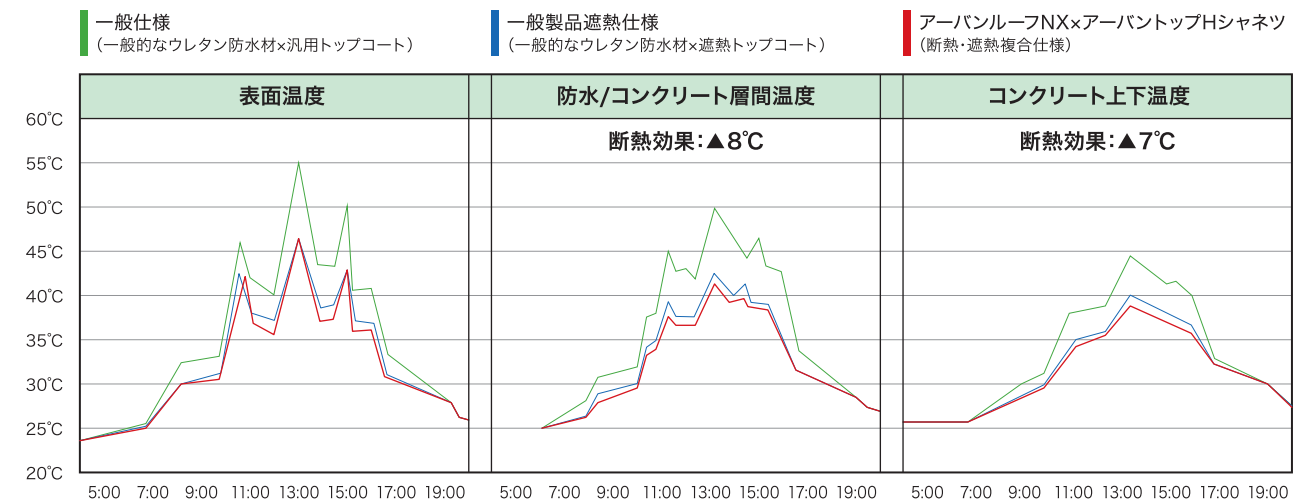
アーバンルーフNXの低熱伝導性

特殊なフィラー配合により低比重化と共に低熱伝導性を付与している。



曝露試験結果

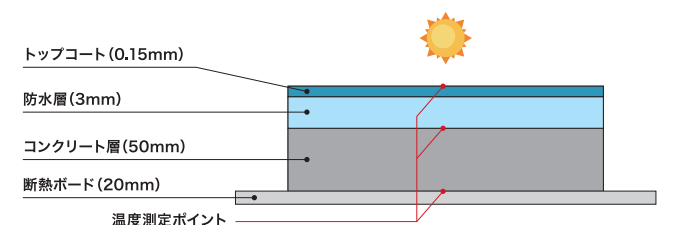
気温 ▲ 最高気温:27.5℃ ▼ 最低気温:23.8℃



高反射塗料(遮熱トップコート)を使用することで防水層の表面温度を下げる効果を出すことができますが、防水材自身に断熱性能を持つウレタン防水材「アーバンルーフNX」を使用することで、一般仕様と比較しても最大約8℃(防水下およびコンクリート下)の断熱効果を示しました。また、一般製品遮熱仕様と比較しても最大約2℃(防水下およびコンクリート下)の断熱効果を示しました。

測定方法

※本項目の記載事項は横浜ゴム社内試験データに基づくもので、あらゆる条件下で同様の効果を保証するものではありません。

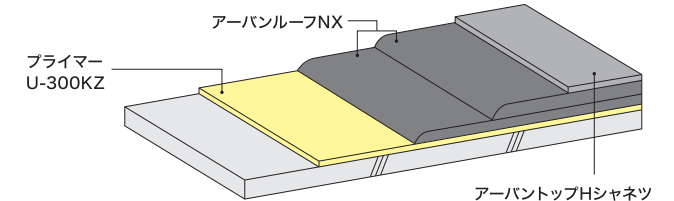


ETV実証登録



2成分形ウレタン塗膜防水材「アーバンルーフNX」と「アーバントップHシャネツ」「プライマーU-300KZ」の組み合わせで、環境省平成26年度環境技術実証事業(ETV)の「ヒートアイランド対策技術分野」において実証番号(051-1410)を取得しております。

構成する製品一覧



アーバンルーフ材料環境性能

VOC対策

シックハウスやシックスクールの原因とされるVOCに関して、厚生労働省での室内濃度指針値が策定されています。また、文部科学省でも学校衛生基準の室内濃度指針値を策定しています。品確法における住宅性能表示項目に於いても任意測定物質が示されています。ハマタイトアーバンルーフ防水材の環境対応工法適用製品に関しては、これらの指針値策定物質について一切使用含有しておりません。

物質名	厚生労働省	文部科学省	国土交通省		アーバンルーフ防水材料(環境対応工法使用材料※2)		
	室内濃度指針値	学校衛生の基準・室内濃度指針値	品確法 住宅性能表示	建築基準法	プライマー	防水材	トップコート
ホルムアルデヒド	100μg/m ³ (0.08ppm)	100μg/m ³ (0.08ppm)	測定	使用制限	含有せず	含有せず	含有せず
トルエン	260μg/m ³ (0.07ppm)	260μg/m ³ (0.07ppm)	任意測定	—	含有せず	含有せず	含有せず
キシレン	870μg/m ³ (0.20ppm)	870μg/m ³ (0.20ppm)	任意測定	—	含有せず	含有せず	含有せず
パラジクロロベンゼン	240μg/m ³ (0.04ppm)	240μg/m ³ (0.04ppm)	—	—	含有せず	含有せず	含有せず
エチルベンゼン	3800μg/m ³ (0.88ppm)	3800μg/m ³ (0.88ppm)	任意測定	—	含有せず	含有せず	含有せず
スチレンモノマー	220μg/m ³ (0.05ppm)	220μg/m ³ (0.05ppm)	任意測定	—	含有せず	含有せず	含有せず
クロルピリホス	1μg/m ³ ※1 (0.07ppb)	—	—	使用制限	含有せず	含有せず	含有せず
フタル酸ジ-n-ブチル	220μg/m ³ (0.02ppm)	—	—	—	含有せず	含有せず	含有せず
テトラデカン	330μg/m ³ (0.04ppm)	—	—	—	含有せず	含有せず	含有せず
フタル酸-2-エチルヘキシル	120μg/m ³ (7.6ppb)	—	—	—	含有せず	含有せず	含有せず
ダイアジノン	0.29μg/m ³ (0.02ppb)	—	—	—	含有せず	含有せず	含有せず
アセトアルデヒド	48μg/m ³ (0.03ppm)	—	任意測定	—	含有せず	含有せず	含有せず
フェノブカルブ	33μg/m ³ (3.8ppb)	—	—	—	含有せず	含有せず	含有せず
ノナール	41μg/m ³ (7.0ppb)	—	—	—	含有せず	含有せず	含有せず

※1小児の場合：0.1μg/m³(0.07ppb)
※2環境対応工法使用材料 プライマー：E-100、アーバンプライマーSS、U-300K
防水材：EU-ONE、アーバンルーフNX、アーバンルーフNX-T
トップコート：トップコートE、トップコートS、アーバントップA、アーバンルーフSR

シックハウス症候群やシックスクール症候群の原因となるVOCの中でもホルムアルデヒドの放散に関しては建築基準法により室内に使用される建築材料のホルムアルデヒド放散等級が設けられており、等級によって使用が制限されています。

ハマタイトアーバンルーフ防水材は、各種材料でのホルムアルデヒドの含有はありません。また、放散等級は規制の制限がないF☆☆☆☆の認定を得ています。

ホルムアルデヒド放散建材の分類

ホルムアルデヒド放散建築材料は、室温28℃、相対湿度50%時のホルムアルデヒドの放散速度により、4種類に分類され、内装仕上げの使用が制限されています。

建築材料の区分	表記記号	ホルムアルデヒドの放散速度	使用の制限
建築基準法の規制対象外	F☆☆☆☆	0.005mg/(m ² ・h)以下	使用制限なし
第三種ホルムアルデヒド放散建材	F☆☆☆	0.005～0.020mg/(m ² ・h)	使用面積が制限される
第二種ホルムアルデヒド放散建材	F☆☆	0.005～0.120mg/(m ² ・h)	
第一種ホルムアルデヒド放散建材	表示なし	0.120mg/(m ² ・h)超	使用禁止

F☆☆☆☆

アーバンルーフ各種材料は、日本ウレタン建材工業会、及び日本シーリング材工業会のF☆☆☆☆登録認定を受けております。

	プライマー 接着剤	防水材	トップコート	
商品	U-300K	EU-ONE	アーバントップH	トップコートAC
	U-300KZ	アーバンルーフNX	アーバントップHシャネツ	アーバントップA
	アーバンプライマーSS	アーバンルーフNX-T	トップコートS	アーバントップAシーラー
	E-100		トップコートFフッソ	トップコートE
	CV-Fシート用接着剤		アーバントップSR	トップコートUシルバー
	No.40			

おすすめの防水工法(施工部位)

建物部位から探す

防水工事は建物部位に合わせた工法選択が必要です。

塔屋屋根、鳩小屋

屋上にある機械室や階段室等の屋根で、屋上、ルーフバルコニーと同様に防水上重要な部位です。

ベランダ(バルコニー)

雨水の排水や歩行に耐え得る防水層が必要です。

屋上/ルーフバルコニー

階下に居室があり、防水上重要な部位です。紫外線や降雨・降雪など厳しい条件にさらされるため、防水層には十分な耐候性、耐久性が必要です。



ルーフバルコニー

庇(ひさし)

屋根に沿った長いスパンの大庇や、窓などの上にある小庇など紫外線による劣化が進みやすい部位です。

開放廊下/階段室

居住者による歩行頻度が高く、防水層の摩耗がよく見られる部位です。

笠木(かさぎ)

パラペットや手摺り架台天端など直射日光や手摺りの動きなどによるひび割れがおこり易く、防水層には十分な耐候性、耐久性が必要です。

建物部位別のおすすめ工法

部位	既存下地	選択の目安	おすすめ工法
屋上 ルーフバルコニー 塔屋屋根 鳩小屋	保護コンクリート	役物が少ない	通気緩衝工法 HVS工法、UM工法、CV-F工法 P18-19、P20-21、P22
		役物が多い	密着工法 NX工法、EU工法 P24、P25
		スポーツ用途	密着工法 SP工法 P23
	ウレタン塗膜防水	劣化なし	密着工法 NX工法、EU工法 P24、P25
		劣化あり	通気緩衝工法 HVS工法、UM工法、CV-F工法 P18-19、P20-21、P22
	塩ビシート防水		機械式固定工法 KUM工法 P30
	ゴムシート防水		
	露出アスファルト防水		特殊通気緩衝工法 HS工法 P29
	※立上り部は立上り工法		
	ベランダ 開放廊下 階段室		ベランダ工法 NXB工法、EUB工法 P26、P27
庇 笠木			密着工法 NX工法、EU工法、NXB工法、EUB工法 P24、P25、P26、P27

※この表は目安です。条件によっては必ずしも適用できない場合があります。

アーバンルーフ工法の特徴

一般工法

プライマーはU-300K又はU-300KZ、トップコートはアーバントップH又はアーバントップH(シャネツ)です。

工法分類	工法名	工法の概要	JASS8(2014)区分
《 通気緩衝工法 》※1	CV-F工法	CV-Fシート(穴あき不織布)を用いた通気緩衝工法です。 下地水分によるフクレの防止や下地の挙動による防水層の破断を防止します。	L-USS※2
	HVS工法	HVSシート(穴無し自着層つきシート)を用いた通気緩衝工法です。シート表面は防水性を有しています。下地水分によるフクレの防止や下地の挙動による防水層の破断を防止します。	L-USS※2
	UM工法	UMシート(穴無し自着層つきシート)を用いた通気緩衝工法です。シート表面は防水性を有しており、又改質アスファルト層と不織布のハイブリット構造になっています。下地水分によるフクレの防止や下地の挙動による防水層の破断を防止します。	L-USS※2
	KUM工法	UMシートをアンカーで固定する機械固定式の通気緩衝工法です。 既存防水層を撤去せずにオーバーレイで施工が可能となります。	L-USS※2
	HS工法	プライマーHS-100を使用しUMシートで施工する通気緩衝工法です。 既存露出アスファルト防水層の上から改修が可能です。	L-USS※2
《 密着工法 》	NX工法	防水層を2成分形カラーウレタンで施工する補強クロス入り密着工法です。耐久性に優れ歩行用途に適用します。	L-UFS※2
	NXB工法	防水層を2成分形カラーウレタンで施工するクロス無し密着工法です。バルコニーや側溝、庇等小面積向きで歩行用途にも適用します。	
	EU工法	防水層を1成分形カラーウレタンで施工する補強クロス入り密着工法です。1成分湿気硬化型のため混合攪拌が不要で確実に硬化します。耐久性に優れ歩行用途に適用します。	L-UFS※2
	EUB工法	防水層を1成分形カラーウレタンで施工するクロス無し密着工法です。1成分湿気硬化型のため混合攪拌が不要で確実に硬化します。バルコニーや側溝、庇等小面積向きで歩行用途にも適用します。	
	SP工法	ウレタン防水材の特徴を生かし、各種スポーツに対応が可能な密着工法です。歩行が頻繁な部位へも適用可能です。	L-UFS※2
	NX立上り工法	防水層を構成する材料に2成分形カラーウレタン立上り用を使用する工法です。 平場用+YM-800T添加での対応も設定しています。	L-UFS※2
	EU立上り工法	防水層を構成する材料に1成分形EU-ONE(YM-800T添加)を使用する立上がり工法です。	L-UFS※2

※1 防水材は、アーバンルーフNX(2成分形)及びEU-ONE(1成分形)の設定が可能です。

※2 防水層平均膜厚が、平場:3mm / 立上り:2mmの場合に適用

環境対応型工法

プライマー、接着剤、トップコートを環境対応型材料で設定した工法です。
プライマー、トップコートについては水性タイプと弱溶剤タイプの設定が可能です。

工法分類	工法名	工法の概要	JASS8(2014)区分
《 通気緩衝工法 》	HVS-E工法	■仕様は上記通常工法に準拠しますがプライマー、トップコートが環境対応材料で構成されている工法です。	L-USS※
	UM-E工法		L-USS※
	KUM-E工法		L-USS※
	HS-E工法		L-USS※
《 密着工法 》	NX-E工法		L-UFS※
	NXB-E工法	■施工環境や用途に応じてエマルジョン(水性)系材料又は弱溶剤系材料が選択できます。	
	EU-E工法		L-UFS※
	EUB-E工法		
	NX立上り-E工法		L-UFS※
	EU立上り-E工法		L-UFS※
	ID-E工法	OAフロア下等の室内における簡易防水工法です。必要に応じてトップコート仕上げも可能です。	

※ 防水層平均膜厚が、平場:3mm / 立上り:2mmの場合に適用

公共工事仕様対応

工法名	工法の概要
X工法	国土交通省「公共建築工事標準仕様書平成28年度版」に採用されているX-1、X-2に適用する工法です。

都市再生機構仕様対応

都市再生機構「保全工事共通仕様書平成26年度版」に採用される各部位に適用する工法です。

工法名	工法の概要
CVF-J工法	脱気絶縁複合防水(歩行用ウレタンゴム系全面修繕1回目)工事に適合する工法です。
CB-J工法	バルコニー等床修繕に適用する工法です。
NX-J工法	歩行用ウレタンゴム系全面修繕2回目以降に適合する工法です。

工法名の読み方

通気緩衝工法の場合

例)	H	V	S	-	N	X	3	E
	シートの種類				防水材の種類		防水層の厚み	環境対応
	HVS: HVSシートグリーン				NX: アーバンルーフNX			無印: 一般工法
	UM : UMシート				EU: EU-ONE			E : 環境対応工法
	CV-F: CV-Fシートグリーン							

密着工法の場合

例)	N	X	B	-	2	E
	防水材の種類		補強布の有無		防水層の厚み	環境対応
	NX: アーバンルーフNX		無印: 有			無印: 一般工法
	EU: EU-ONE		B : 無			E : 環境対応工法

環境対応工法適用材料

プライマー※			トップコート		
プライマーE-100	アーバンプライマーSS	U-300K	トップコートE	トップコートS	アーバントップSR

※通気緩衝シート(HVS、UM)はアーバンプライマーSSを選定下さい。詳細は工法のページを参照下さい。

その他工法

スポーツ工法

例)	S	P	-	1	/	S	P	-	2
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ID工法(室内密着工法)

例)	I	D	-	N	X	2	E
							環境対応
							無印: 一般工法
							E : 環境対応工法

機械式固定工法

例)	K	U	M	-	N	X	3	E
	機械式固定+UMシート						環境対応	
							無印: 一般工法	
							E : 環境対応工法	

HS工法(砂付きアスファルト改修工法)

例)	H	S	-	N	X	3	E
HS-100+UMシート							環境対応
							無印: 一般工法
							E : 環境対応工法

国土交通省仕様

例)	X	-	1	絶縁工法
	X	-	2	密着工法

独立行政法人都市再生機構仕様

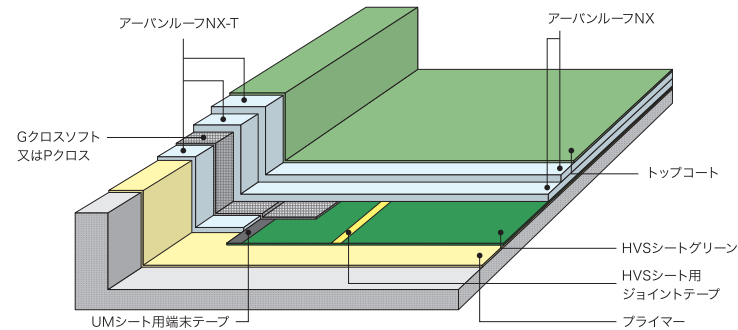
例)	C	B	-	J
	バルコニー床等防水			

屋上・ルーフバルコニー① 工法特徴

既存下地がコンクリートの場合

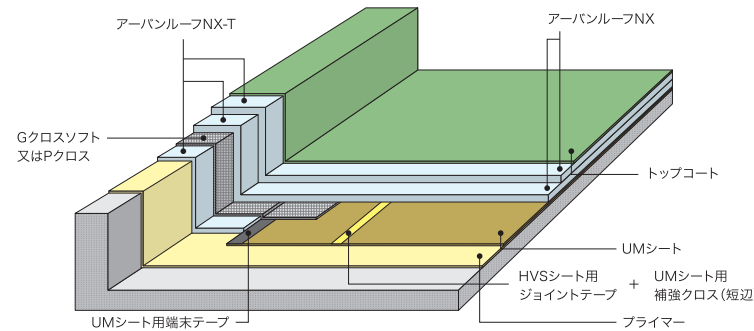
HVS工法 → 工法の詳細はP.18～19へ

シート表面に防水性を有した自着層付きの通気緩衝シート (HVSシートグリーン) を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止する脱気絶縁複合防水工法です。シートは軽量で凹凸のないきれいな下地に向いています。



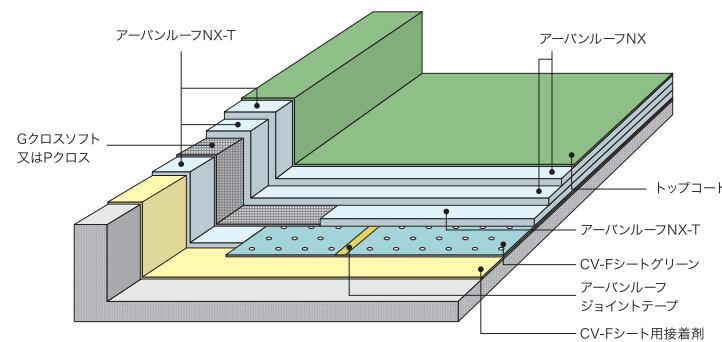
UM工法 → 工法の詳細はP.20～21へ

シート表面に防水性を有した自着層付きの通気緩衝シート (UMシート) を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止し、なおかつ下地の挙動等による防水層の破断を防ぐ脱気絶縁複合防水工法です。シートは重厚でジョイント部には補強クロスを張るので信頼性にも優れています。



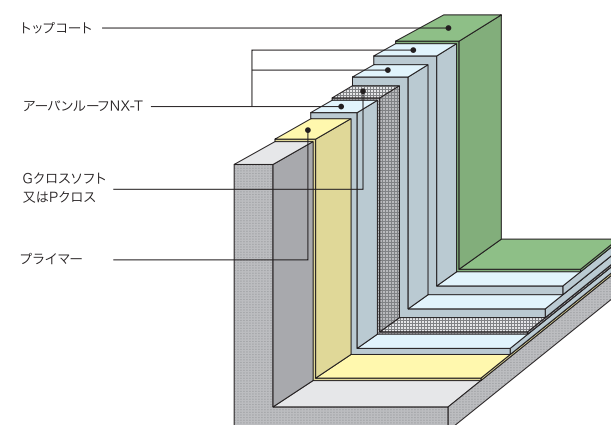
CV-F工法 → 工法の詳細はP.22へ

不織布を使用した通気緩衝シート (CV-Fシートグリーン) を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止し、なおかつ下地の挙動等による防水層の破断を防ぐ脱気絶縁工法です。材料がシートの穴を通して下地と直接接着するので台風などの耐風圧性や長期の信頼性に優れています。



アーバンルーフ立上り工法 → 工法の詳細はP.28へ

各工法の立上りに施工する工法です。

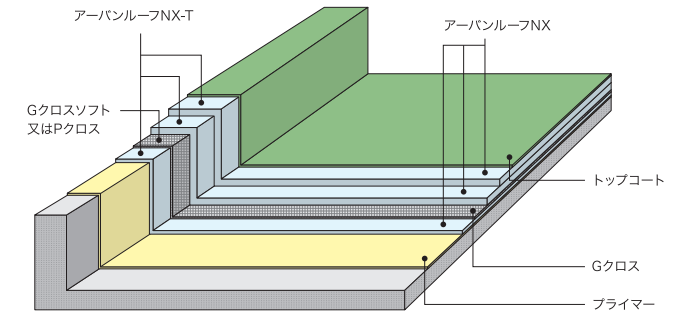


屋上・ルーフバルコニー② 工法特徴

既存下地がコンクリート・ウレタン防水の場合

NX工法 → 工法の詳細はP.24へ

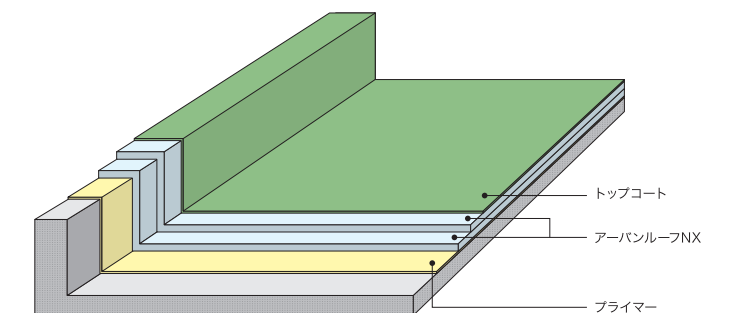
防水層を2成分形のカラーウレタンで形成する工法です。補強クロス入りで耐久性に優れ、歩行用に対応できます。既存ウレタン防水層 (通気緩衝シート使用) の増塗り工法としても対応可能です。



NXB工法 → 工法の詳細はP.26へ

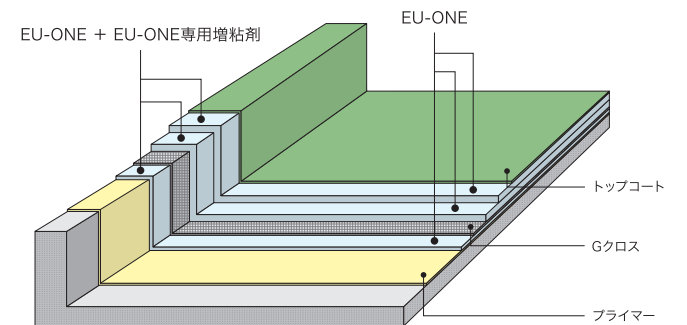
防水層を2成分形のカラーウレタンで形成するクロス無しの密着工法です。既存ウレタン防水層 (通気緩衝シート、補強クロス使用) の増塗り工法としても対応可能です。

※既存ウレタン防水層の劣化が激しい場合は、NX工法として下さい。



EU工法 → 工法の詳細はP.25へ

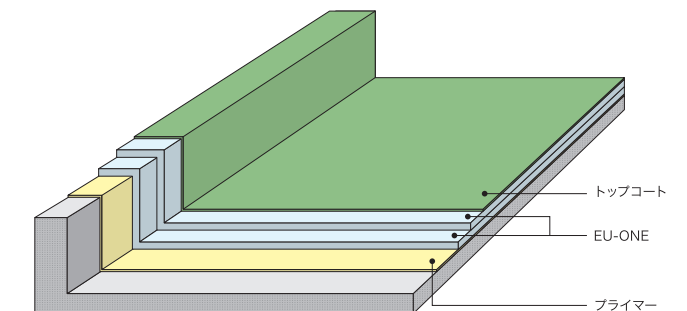
防水層を1成分形のカラーウレタンで形成するクロス入り密着工法です。既存ウレタン防水層 (通気緩衝シート、補強クロス使用) の増塗り工法としても対応可能です。



EUB工法 → 工法の詳細はP.27へ

防水層を1成分形のカラーウレタンで形成するクロス無しの密着工法です。既存ウレタン防水層 (通気緩衝シート、補強クロス使用) の増塗り工法としても対応可能です。

※既存ウレタン防水層の劣化が激しい場合はEU工法として下さい。



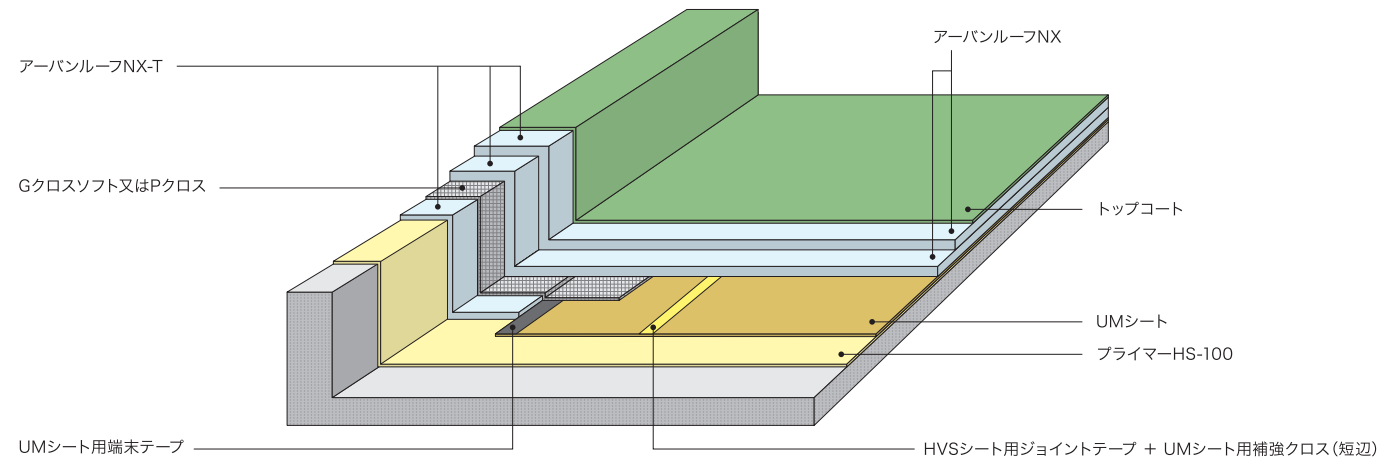
屋上・ルーフバルコニー③ 工法特徴

既存下地が露出アスファルトの場合

HS工法

→ 工法の詳細はP.29へ

露出アスファルトルーフィングに接着が可能なHS-100プライマーを用いた露出アスファルト改修用通気緩衝工法です。立上がり部については、旧防水層アスファルトプライマー層を撤去して下さい。

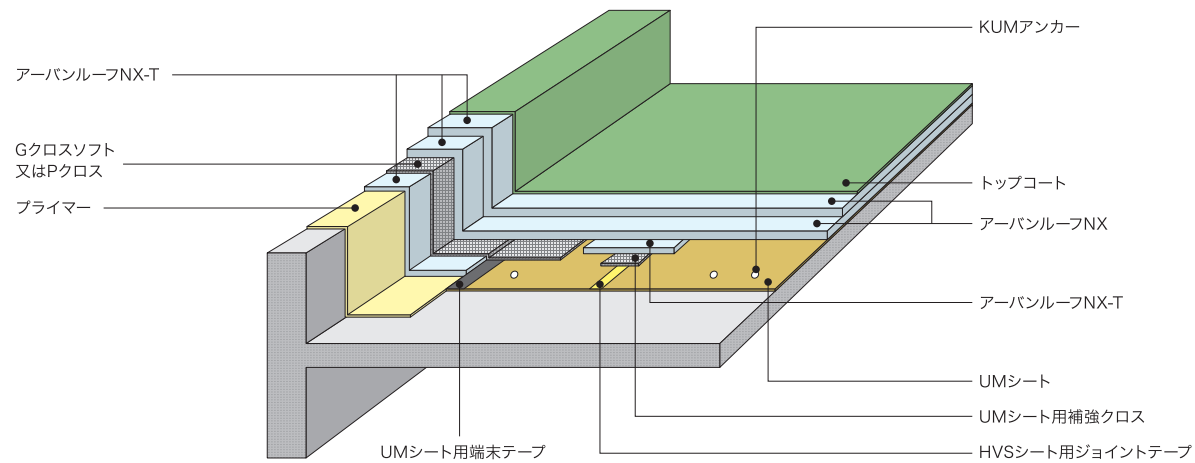


既存下地がシート防水、露出アスファルトの場合

KUM工法

→ 工法の詳細はP.30～31へ

既存下地がシート防水や露出アスファルトの場合に既存防水層を撤去せずに上から被せる通気緩衝工法です。特殊ディスクアンカーによりUMシートを固定します。



ベランダ・開放廊下・階段室 工法特徴

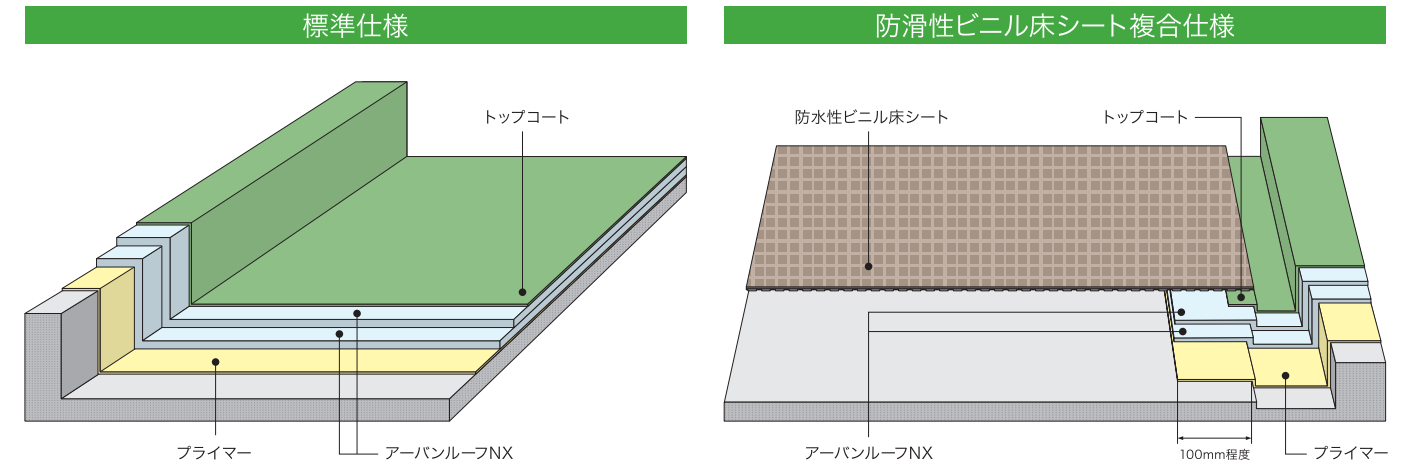
既存下地がコンクリートの場合

NXB工法

→ 工法の詳細はP.26へ

防水層を2成分形のカラーウレタンで形成するクロス無しの密着工法です。既存ウレタン防水層(通気緩衝シート、補強クロス使用)の増塗り工法としても対応可能です。

※既存ウレタン防水層の劣化が激しい場合は、NX工法として下さい。

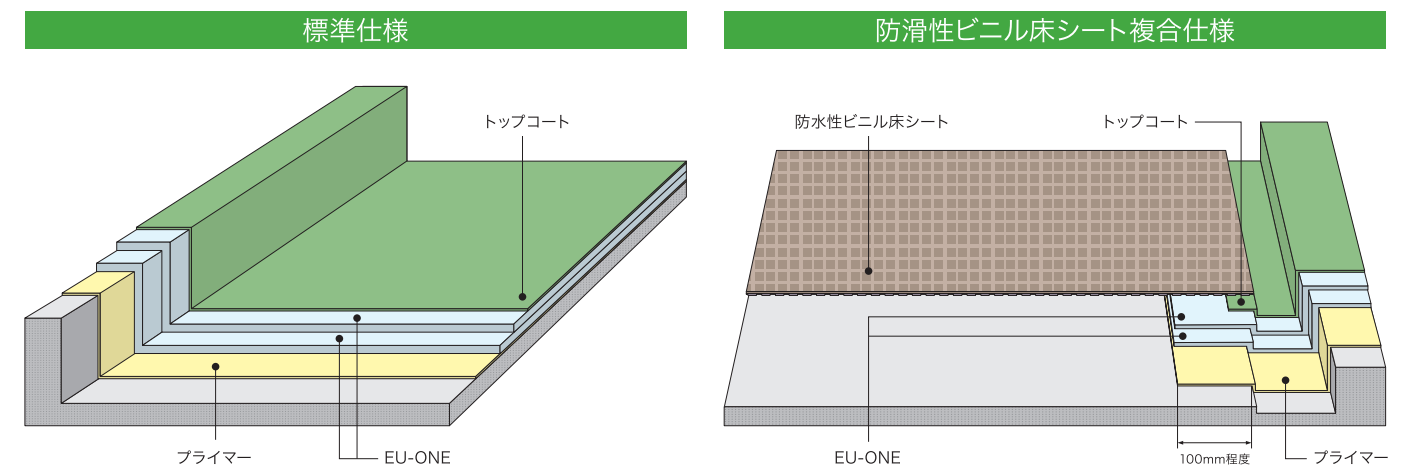


EUB工法

→ 工法の詳細はP.27へ

防水層を1成分形のカラーウレタンで形成するクロス無しの密着工法です。既存ウレタン防水層(通気緩衝シート、補強クロス使用)の増塗り工法としても対応可能です。

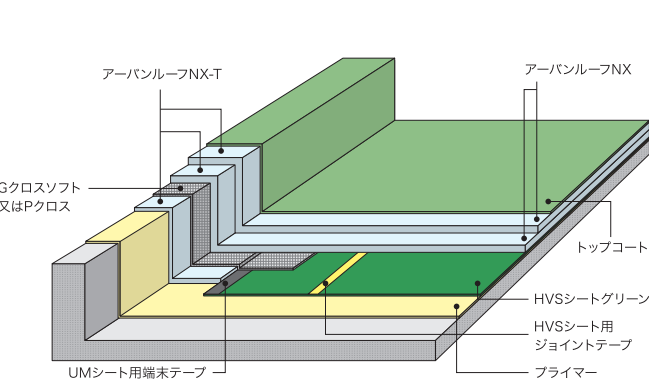
※既存ウレタン防水層の劣化が激しい場合はEU工法として下さい。



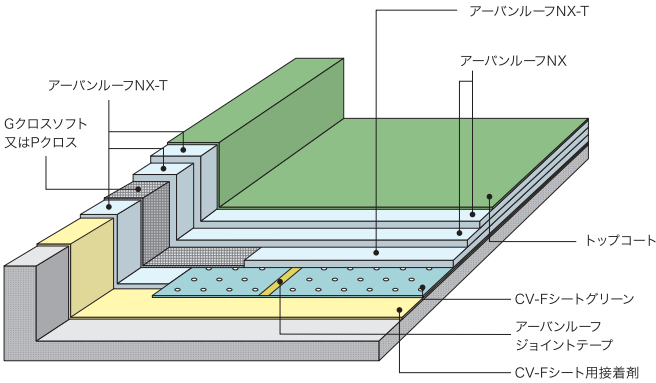
アーバンルーフX工法 X-1工法

国土交通省仕様
(平成28年版)

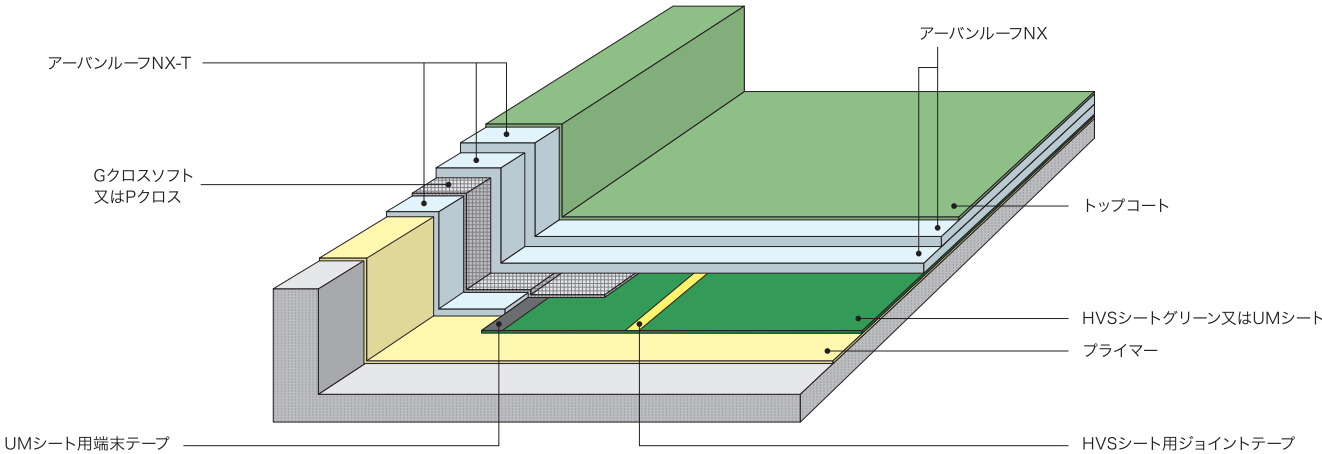
HVS・UM



CV-F



HVS・UM



一般仕様

HVS-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-EU3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-EU3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

CVF-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	CV-Fシート用接着剤	0.3
2	CV-Fシートグリーン	1.0m ²
3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX	1.2
6	アーバンルーフNX	1.1
7	トップコート	0.2

(注) 記載の材料使用量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」に基づき、当社材料の単位容積質量にて換算した実際の使用量を記載しています。
他の材料での使用量及びご不明な点がございましたら、弊社販売員までお問い合わせください。

環境対応仕様

HVS-NX3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-NX3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-EU3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-EU3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

(注) 記載の材料使用量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」に基づき、当社材料の単位容積質量にて換算した実際の使用量を記載しています。
他の材料での使用量及びご不明な点がございましたら、弊社販売員までお問い合わせください。

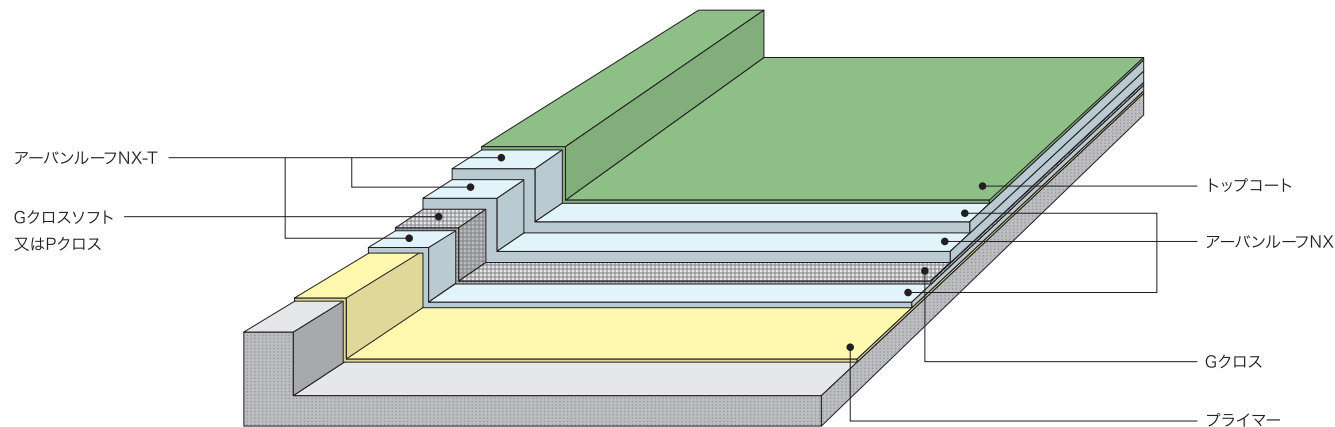
- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部はX立上り工法となります。

■ 防水材を1成分形アーバンルーフEU-ONEで施工される場合は塗布量が変わります。詳細は弊社販売員にお問い合わせください。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSSとなります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。
- トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

アーバンルーフX工法 X-2工法 / X-2立上り工法

国土交通省仕様
(平成28年版)



一般仕様

X-2工法

X-2立上り工法

NX-3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.2
6	トップコート	0.2

NX-立上り工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX-T	0.4
3	Gクロスソフト又はPクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX-T	0.9
6	トップコート	0.2

(注) 記載の材料使用量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」に基づき、当社材料の単位容積質量にて換算した実際の使用量を記載しています。
他の材料での使用量及びご不明な点がございましたら、弊社販売員までお問い合わせください。

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部はX立上り工法となります。

環境対応仕様

X-2工法

X-2立上り工法

NX-3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.2
6	トップコート	0.2

NX-立上りE工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX-T	0.4
3	Gクロスソフト又はPクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX-T	0.9
6	トップコート	0.2

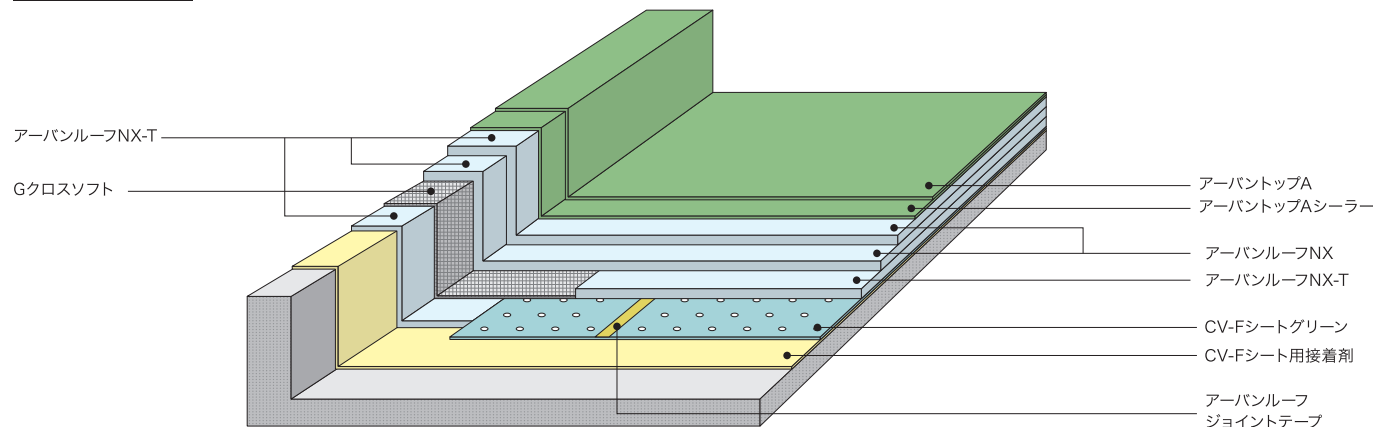
(注) 記載の材料使用量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」に基づき、当社材料の単位容積質量にて換算した実際の使用量を記載しています。
他の材料での使用量及びご不明な点がございましたら、弊社販売員までお問い合わせください。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSS(弱溶剤タイプ)又はプライマーE-100(水性タイプ)となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

■ 防水材を1成分形アーバンルーフEU-ONEで施工される場合は塗布量が変わります。詳細は弊社販売員にお問い合わせください。

アーバンルーフ都市再生機構仕様(平成29年版準拠)

CV-F-J 工法



脱気絶縁複合防水

全面修繕1回目 平場

庇・架台天端及び立上り部等

CV-F-J工法

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	CV-Fシート用接着剤	0.3
2	CV-Fシートグリーン	1.0m ²
3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX-T	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.5
7	アーバントップAシーラー	0.15
8	アーバントップA※	1.0

※アーバントップAは2回塗りとなります。

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーU-300KZ(U-300K)	0.2
2	アーバンルーフNX-T	0.6
3	Gクロスソフト	1.1m
4	アーバンルーフNX-T	1.1
5	アーバンルーフNX-T	1.1
6	アーバントップAシーラー	0.15
7	アーバントップA※	1.0

※アーバントップAは2回塗りとなります。

全面修繕2回目以降 平場

NX-J工法(2回目修繕)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーE-100	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.1m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.2
6	アーバントップAシーラー	0.15
7	アーバントップA※	1.0

※アーバントップAは2回塗りとなります。

アーバントップA、アーバントップAシーラーは、2019年2月発売予定です。

庇・架台天端及び立上り部等

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーE-100	0.2
2	アーバンルーフNX-T	0.3
3	Gクロスソフト	1.1m
4	アーバンルーフNX-T	1.0
5	アーバンルーフNX-T	0.9
6	アーバントップAシーラー	0.15
7	アーバントップA※	1.0

※アーバントップAは2回塗りとなります。

(注) 庇、架台天端は現場状況に応じて、アーバンルーフNXが使用可能です。アーバンルーフNX使用量については弊社販売員までお問い合わせ下さい。

バルコニー等床防水

全面修繕1回目バルコニー等床

全面修繕2回目バルコニー等床

CB-J工法

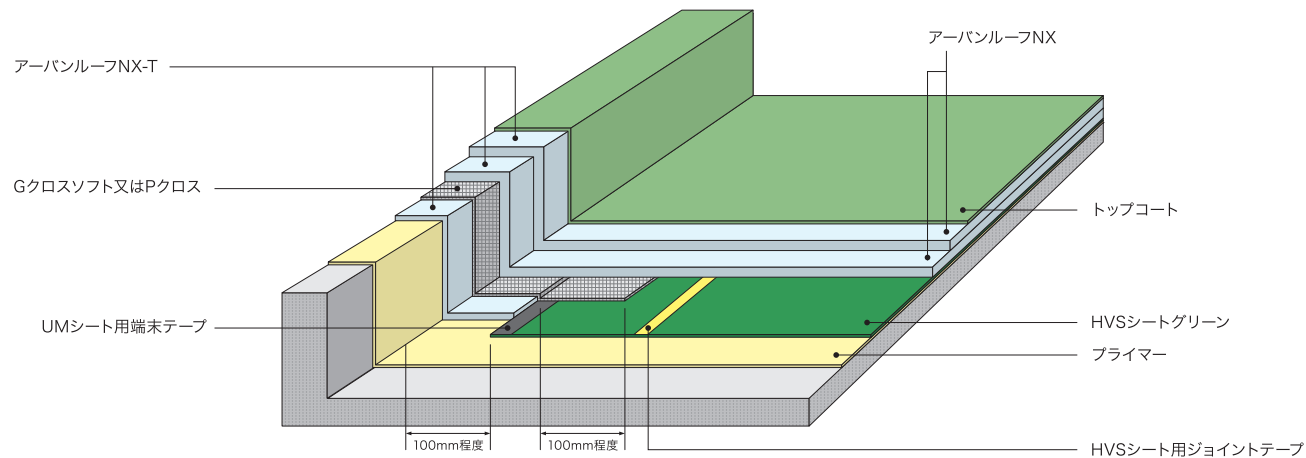
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーE-100+専用粉体	0.15~0.25
2	アーバンルーフNX	2.0
3	トップコートE+フェライト	0.1
4	トップコートE+フェライト	0.1

CB-J工法

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーE-100	0.1~0.2
2	アーバンルーフNX	1.5
3	トップコートE+フェライト	0.1
4	トップコートE+フェライト	0.1

※2回目修繕は、既存下地の状況に応じてプライマーE-100に専用粉体を加えてご使用下さい。

アーバンルーフ通気緩衝工法 HVS-NX工法



一般仕様

HVS-NX2工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.0
5	アーバンルーフNX	1.0
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-NX4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。

環境対応仕様

HVS-NX2E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.0
5	アーバンルーフNX	1.0
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-NX3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

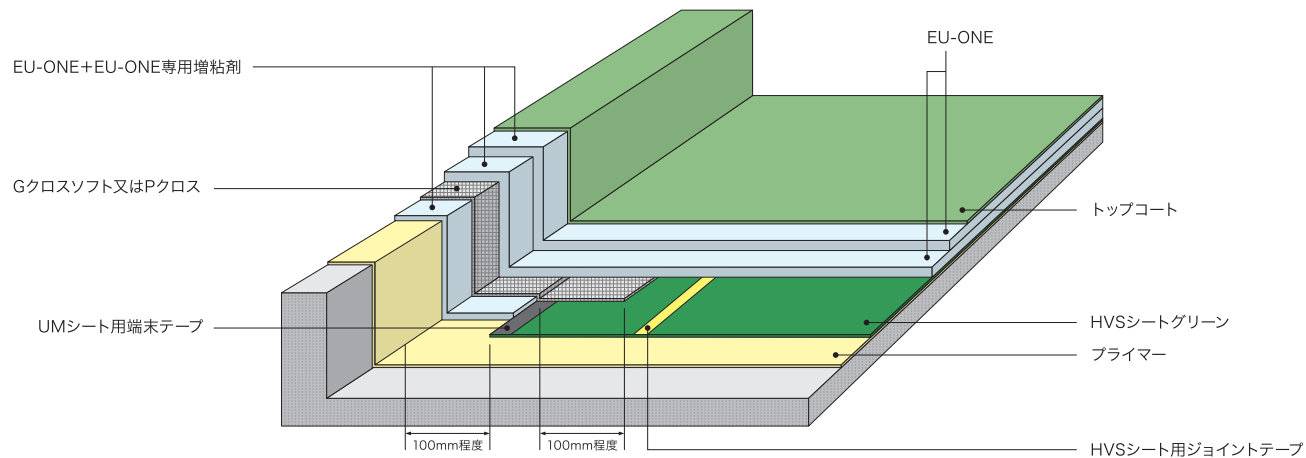
HVS-NX4E工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSSとなります。
- トップコート仕様はSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせが可能です。
- トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

アーバンルーフ通気緩衝工法 HVS-EU工法



一般仕様

HVS-EU2工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.3
5	EU-ONE	1.3
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-EU3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-EU4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.8
5	EU-ONE	1.7
6	EU-ONE	1.7
7	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。

環境対応仕様

HVS-EU2E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.3
5	EU-ONE	1.3
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-EU3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HVS-EU4E工法(平均膜厚4.0mm)

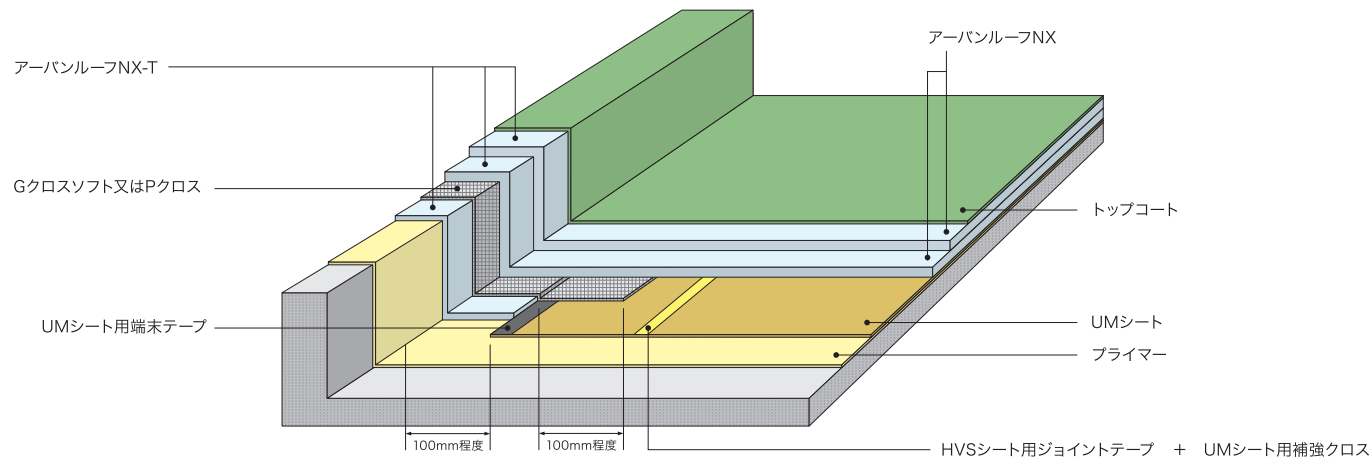
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	HVSシートグリーン	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.8
5	アーバンルーフNX	1.7
6	アーバンルーフNX	1.7
7	トップコート	0.2

※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

EU-ONE専用増粘剤は、2019年2月発売予定です。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSSとなります。
- トップコート仕様はSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせが可能です。
- トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

アーバンルーフ通気緩衝工法 UM-NX工法



一般仕様

UM-NX2工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.0
5	アーバンルーフNX	1.0
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-NX4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。

環境対応仕様

UM-NX2E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.0
5	アーバンルーフNX	1.0
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-NX3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

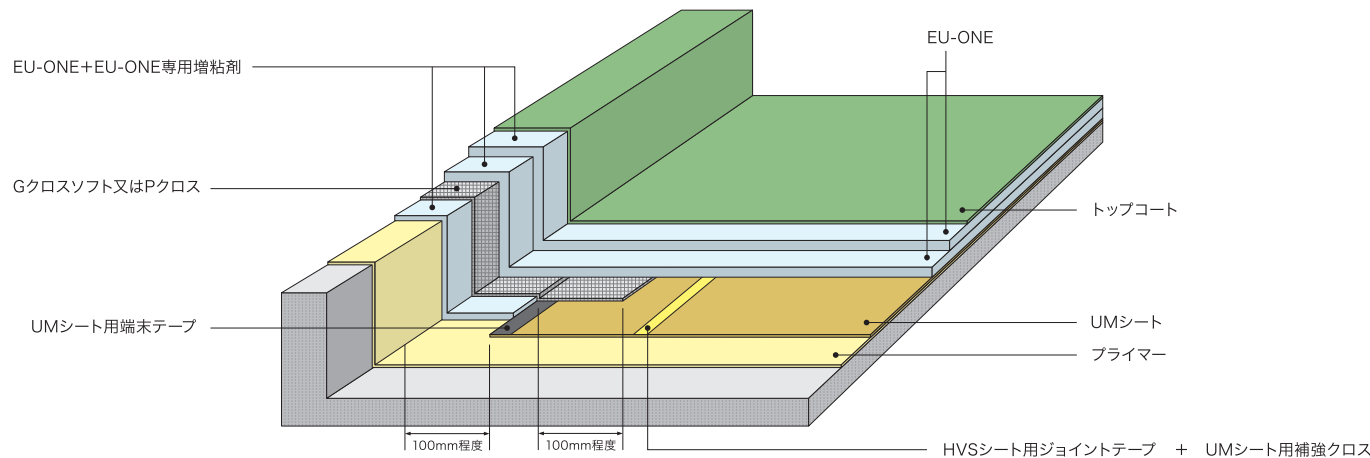
UM-NX4E工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSSとなります。
- トップコート仕様はSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせが可能です。
トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

アーバンルーフ通気緩衝工法 UM-EU工法



一般仕様

UM-EU2工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.3
5	EU-ONE	1.3
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-EU3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-EU4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.8
5	EU-ONE	1.7
6	EU-ONE	1.7
7	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。

環境対応仕様

UM-EU2E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.3
5	EU-ONE	1.3
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-EU3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	2.0
5	EU-ONE	1.9
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

UM-EU4E工法(平均膜厚4.0mm)

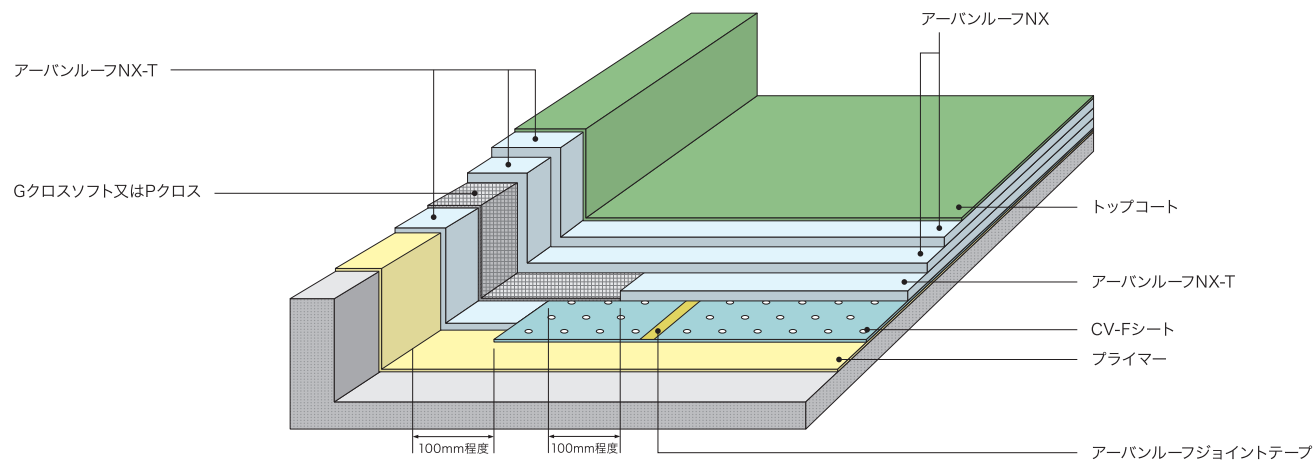
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	アーバンプライマーSS	0.2
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	EU-ONE	1.8
5	EU-ONE	1.7
6	EU-ONE	1.7
7	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

EU-ONE専用増粘剤は、2019年2月発売予定です。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSSとなります。
- トップコート仕様はSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせが可能です。
トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

アーバンルーフ通気緩衝工法 CV-F NX工法



一般仕様

CV-F NX2工法 (平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	CV-Fシート用接着剤	0.3
2	CV-Fシートグリーン	1.0m ²
3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX	1.3
6	トップコート	0.2

※目止め工程でNX+YM-800Tで施工する場合は塗布量が変わります。

CV-F NX3工法 (平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	CV-Fシート用接着剤	0.3
2	CV-Fシートグリーン	1.0m ²
3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX	1.2
6	アーバンルーフNX	1.1
7	トップコート	0.2

※目止め工程でNX+YM-800Tで施工する場合は塗布量が変わります。

CV-F NX4工法 (平均膜厚4.0mm)

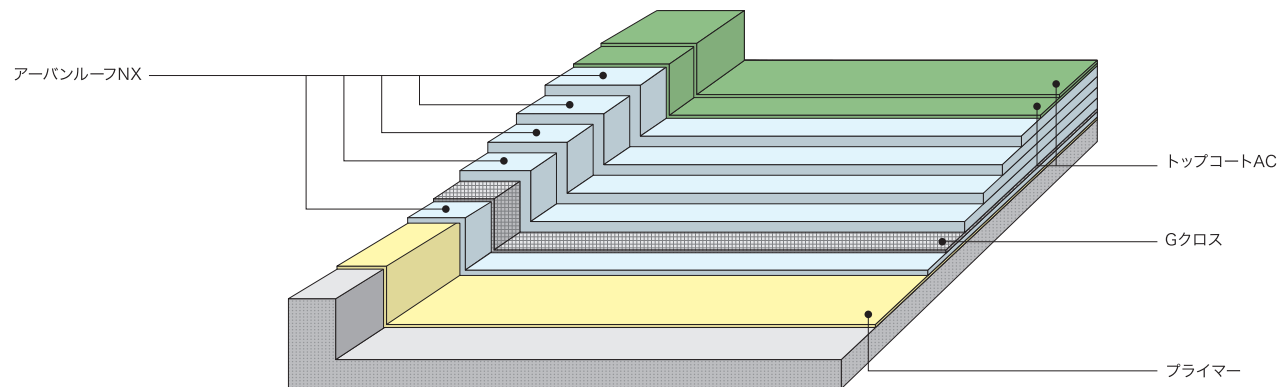
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	CV-Fシート用接着剤	0.3
2	CV-Fシートグリーン	1.0m ²
3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX	1.7
6	アーバンルーフNX	1.6
7	トップコート	0.2

※目止め工程でNX+YM-800Tで施工する場合は塗布量が変わります。

- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。

アーバンルーフスポーツ対応(密着)工法 SP工法

2成分形のウレタン防水材で形成されたスポーツ適用工法



一般仕様

SP-1工法 (平均膜厚10.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX+SPチップ	2.2+0.5
3	アーバンルーフNX+SPチップ	2.2+0.5
4	アーバンルーフNX+SPチップ	2.2+0.5
5	アーバンルーフNX	1.3
6	アーバンルーフNX	1.3
7	トップコートAC	0.2
8	トップコートAC	0.2

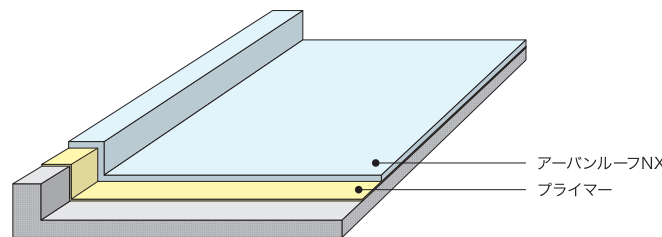
SP-2工法 (平均膜厚6.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.4
6	アーバンルーフNX	1.4
7	アーバンルーフNX	1.4
8	トップコートAC	0.2
9	トップコートAC	0.2

● プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。

アーバンルーフ室内密着工法 ID工法

OAフロアなどの室内における簡易防水



ID-NX工法

ID-NX1.6E工法 (平均膜厚1.6mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	1.6

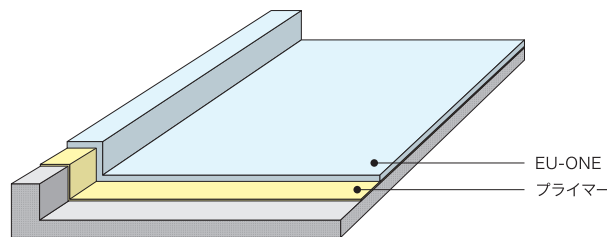
ID-NX2.0E工法 (平均膜厚:2.0mm):1層仕上げ

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	2.0

ID-NX2.0E工法 (平均膜厚:2.0mm):2層仕上げ

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	1.0
3	アーバンルーフNX	1.0

- プライマー仕様はアーバンプライマー-SS(弱溶剤タイプ)又はプライマー-E-100(水性タイプ)となります。
- トップコート塗布仕様の場合は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。
- トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。



ID-EU工法

ID-EU1.5工法 (平均膜厚1.5mm)

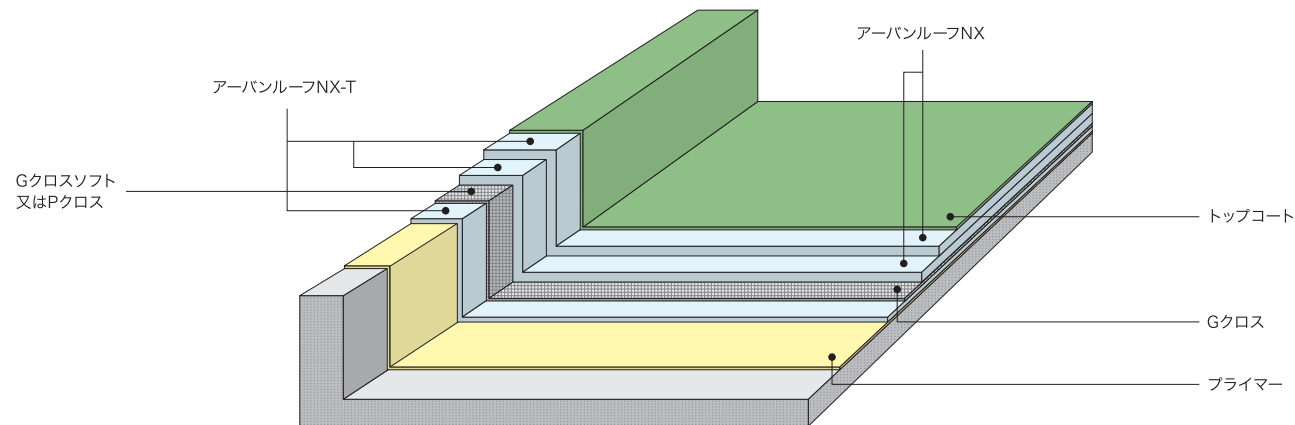
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	2.0

ID-EU2.0工法 (平均膜厚:2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	1.3
3	EU-ONE	1.3

- プライマー仕様はアーバンプライマー-SS(弱溶剤タイプ)又はプライマー-E-100(水性タイプ)となります。
- トップコート塗布仕様の場合は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。
- トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。

アーバンルーフ密着工法 NX工法



一般仕様

NX-2工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.7
5	トップコート	0.2

NX-3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.2
6	トップコート	0.2

NX-4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.2
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部はX立上り工法となります。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。

環境対応仕様

NX-2E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.7
5	トップコート	0.2

NX-3E工法(平均膜厚3.0mm)

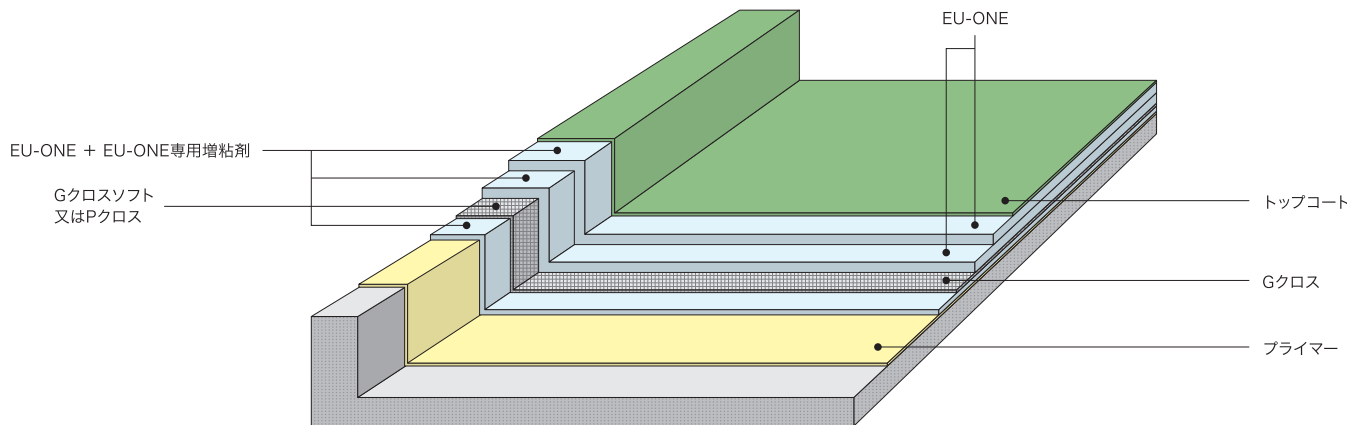
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.2
6	トップコート	0.2

- プライマー仕様はアーバンプライマーSS(弱溶剤タイプ)又はプライマーE-100(水性タイプ)となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。

アーバンルーフ密着工法 EU工法

1成分形のウレタン防水材で形成された密着工法



一般仕様

EU-2工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	EU-ONE	1.0
5	EU-ONE	1.3
6	トップコート	0.2

EU-3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	EU-ONE	1.8
5	EU-ONE	1.8
6	トップコート	0.2

EU-4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	EU-ONE	1.6
5	EU-ONE	1.6
6	EU-ONE	1.6
7	トップコート	0.2

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部はX立上り工法となります。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。

環境対応仕様

EU-2E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	EU-ONE	1.0
5	EU-ONE	1.3
6	トップコート	0.2

EU-3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	EU-ONE	1.8
5	EU-ONE	1.8
6	トップコート	0.2

EU-4E工法(平均膜厚4.0mm)

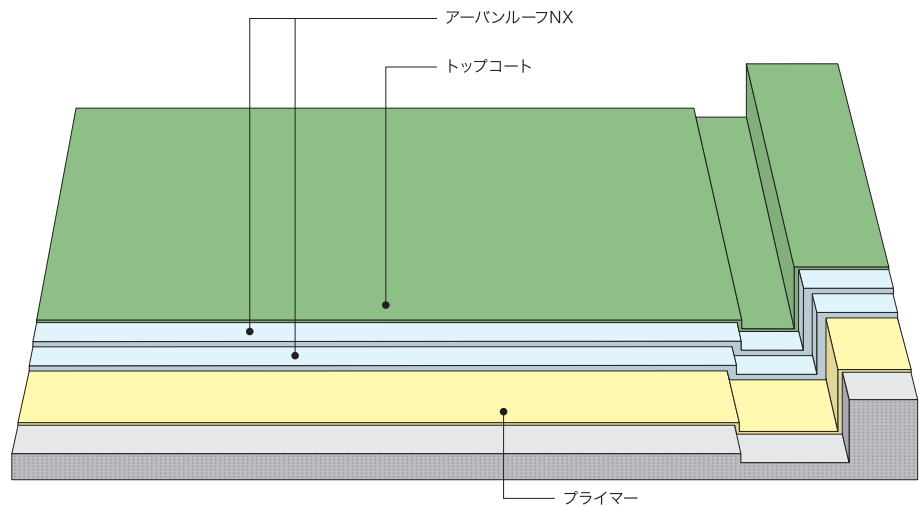
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	0.3
3	Gクロス	1.0m ²
4	EU-ONE	1.6
5	EU-ONE	1.6
6	EU-ONE	1.6
7	トップコート	0.2

EU-ONE専用増粘剤は、2019年2月発売予定です。

- プライマー仕様はアーバンプライマーSS(弱溶剤タイプ)又はプライマーE-100(水性タイプ)となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は立上り工法となります。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。

アーバンルーフベランダ工法 NXB工法



一般仕様

NXB-1.6工法(平均膜厚1.6mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	1.6
3	トップコート	0.2

NXB-2.0工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	1.0
3	アーバンルーフNX	1.0
4	トップコート	0.2

NXB-2.0工法(平均膜厚2.0mm):1層仕上げ

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	2.0
3	トップコート	0.2

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシヤネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。
※1層仕上げの場合は、下地の状態や含水率、降雨に留意し、ピンホール、フクレ、コテムラ等が発生した場合は、補修の上、トップコートを塗布してください。

環境対応仕様

NXB-1.6E工法(平均膜厚1.6mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	1.6
3	トップコート	0.2

NXB-2.0E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	1.0
3	アーバンルーフNX	1.0
4	トップコート	0.2

NXB-2.0E工法(平均膜厚2.0mm):1層仕上げ

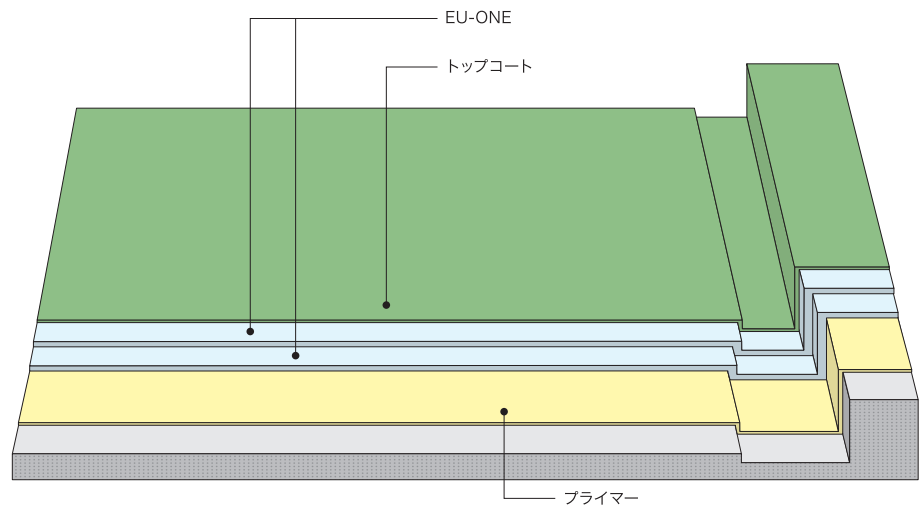
工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX	2.0
3	トップコート	0.2

- プライマー仕様はアーバンプライマーSS(弱溶剤タイプ)又はプライマーE-100(水性タイプ)となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。
トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。
※1層仕上げの場合は、下地の状態や含水率、降雨に留意し、ピンホール、フクレ、コテムラ等が発生した場合は、補修の上、トップコートを塗布してください。

アーバンルーフベランダ工法 EUB工法

1成分形のウレタン防水材で形成されたベランダ工法



一般仕様

EUB-1.5工法(平均膜厚1.5mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	2.0
3	トップコート	0.2

EUB-2.0工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	1.3
3	EU-ONE	1.3
4	トップコート	0.2

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシヤネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。
※1層仕上げの場合は、下地の状態や含水率、降雨に留意しピンホール、フクレ、コテムラ等が発生した場合は補修の上、トップコートを塗布してください。

環境対応仕様

EUB-1.5E工法(平均膜厚1.5mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	2.0
3	トップコート	0.2

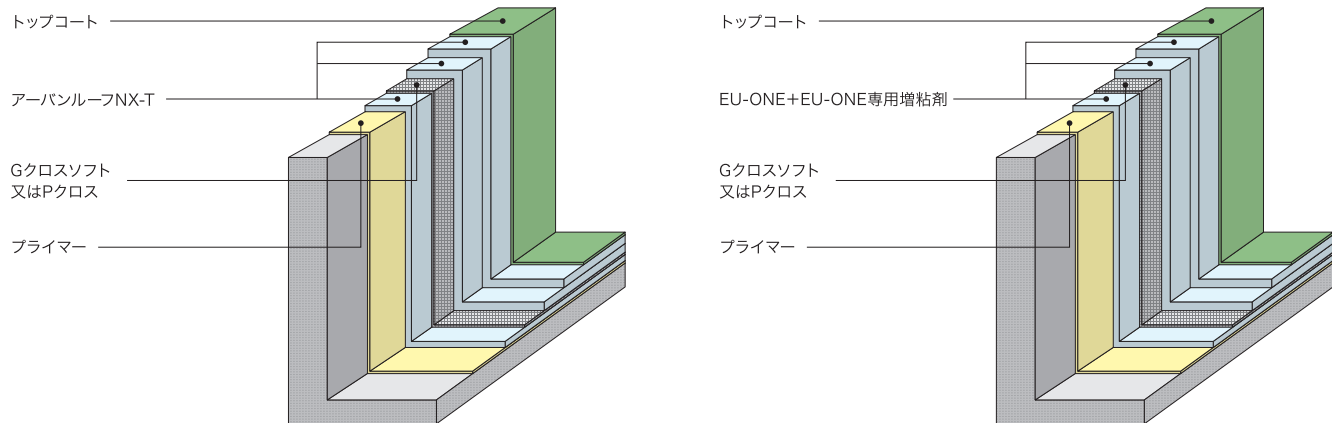
EUB-2.0E工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE	1.3
3	EU-ONE	1.3
4	トップコート	0.2

- プライマー仕様はアーバンプライマーSS(弱溶剤タイプ)又はプライマーE-100(水性タイプ)となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。
トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。

※下地の勾配等の施工条件により規定の塗布量が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整を行ってください。
※1層仕上げの場合は、下地の状態や含水率、降雨に留意しピンホール、フクレ、コテムラ等が発生した場合は補修の上、トップコートを塗布してください。

アーバンルーフ立上り工法



一般仕様

NX-立上り工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX-T	0.4
3	Gクロスソフト又はPクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX-T	0.9
6	トップコート	0.2

- プライマー標準仕様はU-300KZ又はU-300Kとなります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。

EU立上り工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE+EU-ONE専用増粘剤	0.4
3	Gクロスソフト又はPクロス	1.0m ²
4	EU-ONE+EU-ONE専用増粘剤	1.1
5	EU-ONE+EU-ONE専用増粘剤	1.1
6	トップコート	0.2

EU-ONE専用増粘剤は、2019年2月発売予定です。

環境対応仕様

NX-立上りE工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	アーバンルーフNX-T	0.4
3	Gクロスソフト又はPクロス	1.0m ²
4	アーバンルーフNX-T	0.9
5	アーバンルーフNX-T	0.9
6	トップコート	0.2

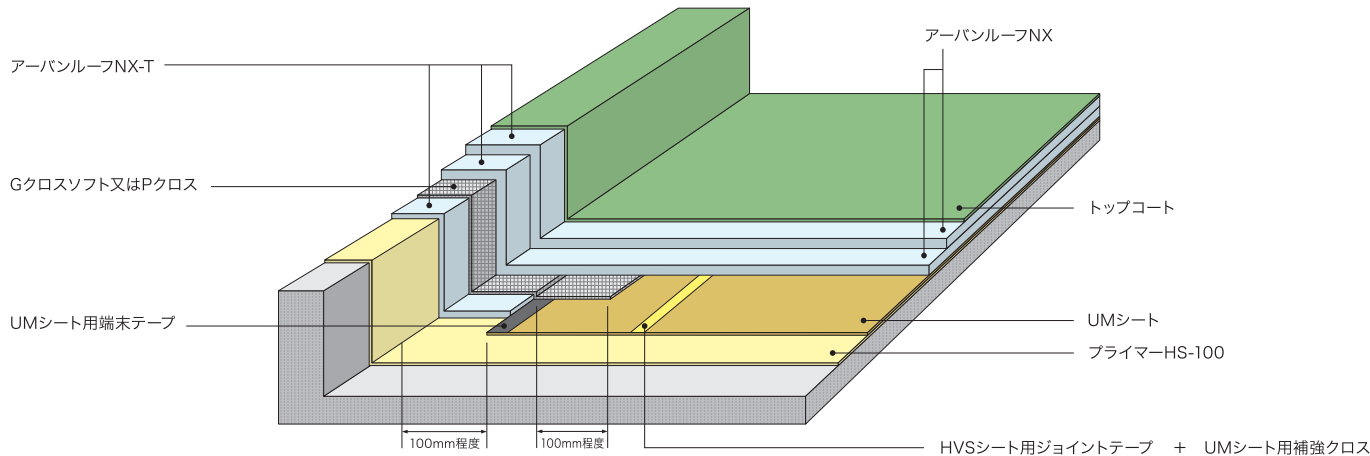
- プライマー仕様はアーバンプライマー-SS(弱溶剤タイプ)又はプライマー-E-100(水性タイプ)となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。

EU立上りE工法(平均膜厚2.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	EU-ONE+EU-ONE専用増粘剤	0.4
3	Gクロスソフト又はPクロス	1.0m ²
4	EU-ONE+EU-ONE専用増粘剤	1.1
5	EU-ONE+EU-ONE専用増粘剤	1.1
6	トップコート	0.2

アーバンルーフ露出アスファルト改修工法 通気緩衝 HS工法

UMシートを用いた露出アスファルト上に施工可能な脱気絶縁複合防水工法



一般仕様

HS-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーHS-100	1.0
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマーはHS-100となります。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は既存アスファルトを撤去の上、立上り工法となります。
- シート端部納まりの詳細は、弊社販売員にお問い合わせ下さい。
- 砂付アスファルトが下地の場合、HS-100使用量が増加する場合があります。

HS-NX4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーHS-100	1.0
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

環境対応仕様

HS-NX3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーHS-100	1.0
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

HS-NX4E工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	プライマーHS-100	1.0
2	UMシート	1.0m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ	1.0m
4	アーバンルーフNX	1.5
5	アーバンルーフNX	1.5
6	アーバンルーフNX	1.0
7	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

- プライマーはHS-100となります。
- トップコート仕様はSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせが可能です。トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。
- 立上り部は既存アスファルトを撤去の上、立上り工法となります。
- シート端部納まりの詳細は、弊社販売員にお問い合わせ下さい。
- 砂付アスファルトが下地の場合、HS-100使用量が増加する場合があります。

固定金具を用いた機械的固定工法



KUM-NX3工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	UMシート	1.0m ²
2	KUMアンカー	3.2箇所/m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ(UMシート用端末テープ)	1.0m
4	UMシート用補強クロス	-
5	アーバンルーフNX-T	0.3
6	アーバンルーフNX	1.5
7	アーバンルーフNX	1.5
8	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
 ※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。
 ※KUMアンカーの使用数量は、耐風圧力を計算の上、使用数量を決定してください。
 ※アーバンルーFX-Tは、UMシートジョイント補強部に塗布してください。

- 補強部の目止めはアーバンルーフNX+YM-800Tでも施工可能です。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。

KUM-NX4工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	UMシート	1.0m ²
2	KUMアンカー	3.2箇所/m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ(UMシート用端末テープ)	1.0m
4	UMシート用補強クロス	-
5	アーバンルーフNX-T	0.3
6	アーバンルーフNX	1.5
7	アーバンルーフNX	1.5
8	アーバンルーフNX	1.0
9	トップコート	0.2

- ※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
- ※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。
- ※KUMアンカーの使用数量は、耐風圧力を計算の上、使用数量を決定してください。
- ※アーバンルーフNX-Tiは、UMシートジョイント補強部に塗布してください。

KUM-NX3E工法(平均膜厚3.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	UMシート	1.0m ²
2	KUMアンカー	3.2箇所/m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ(UMシート用端末テープ)	1.0m
4	UMシート用補強クロス	-
5	アーバンルーフNX-T	0.3
6	アーバンルーフNX	1.5
7	アーバンルーフNX	1.5
8	トップコート	0.2

※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
 ※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。
 ※KUMアンカーの使用数量は、耐風圧力を計算の上、使用数量を決定してください。
 ※アーバンルーFX-Tは、UMシートジョイント補強部に塗布してください。

- 補強部の目止めはアーバンルーフNX+YM-800Tでも施工可能です。
- トップコート標準仕様はH、Hシャネツ及び各種トップコートの組み合わせが可能です。
- 立上り部は立上り工法となります。
- トップコート仕様は環境対応型のSR(弱溶剤タイプ)、S(水性 高反射タイプ)又はE(水性タイプ)の組み合わせとなります。
- トップコートS、Eの場合は2回塗りとなります。

KUM-NX4E工法(平均膜厚4.0mm)

工程	材料	使用量(kg/m ²)
1	UMシート	1.0m ²
2	KUMアンカー	3.2箇所/m ²
3	HVSシート用ジョイントテープ(UMシート用端末テープ)	1.0m
4	UMシート用補強クロス	-
5	アーバンルーフNX-T	0.3
6	アーバンルーフNX	1.5
7	アーバンルーフNX	1.5
8	アーバンルーフNX	1.0
9	トップコート	0.2

- ※シート短手方向には、ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
- ※シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。
- ※KUMアンカーの使用数量は、耐風圧力を計算の上、使用数量を決定してください。
- ※アーバンルーフNX-Tは、UMシートジョイント補強部に塗布してください。

建築基準法施行令第82条の5、建築基準法に基づく告示(平成12年建設省告示第1454号、1458号)に基づき、耐風圧力の計算を行い、KUMアンカーの割付本数を算出します。

風圧力は以下の計算方法で求めます。(建築基準法に基づく告示 平12建告1454)

W = 風圧力 (N/m²) $\bar{q}$ = 平均速度圧 (N/m²) $\hat{c}_f$ = ピーク風力係数 (N/m²)

Er : 平均風速の高さ方向の分布を表す係数(平成12年建設省告示第1454号第1第2項)。
ただし、地表面粗度区分がⅣの場合においては、地表面粗度区分がⅢの場合における数値を用いるものとする。

Vo : 標準平均風速。平成12年建設省告示第1454第2に規定する基準風速の数値。

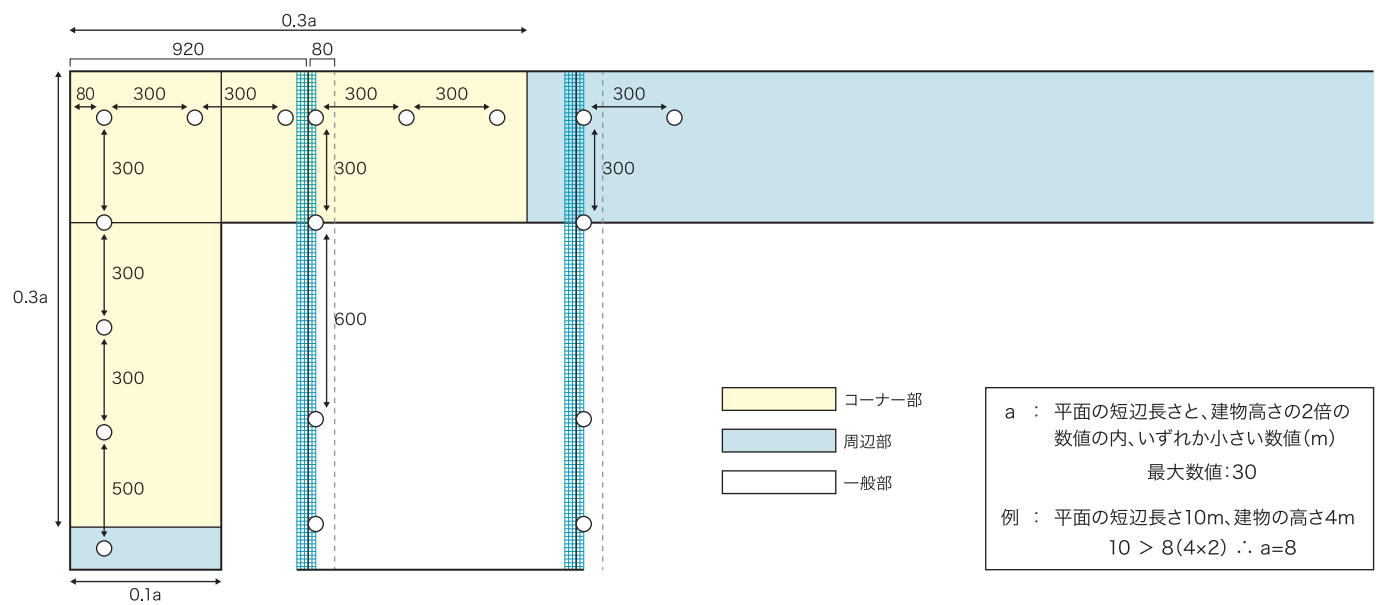
$\hat{c}_f$: ピーク風力係数。風洞試験によって定めるか、平成12年建設省告示1458号第2項に規定する値。

耐風圧力の計算

耐風圧力 $\text{N/m}^2 \geq W(\text{風圧力}) \times 200\% (\text{安全率})$

必要な耐風圧力は、一般的に対象建物の風圧力に対し、2倍以上の安全率をみます。
 施工面は、一般部、周辺部、コーナー部に分けられます。それぞれのピーク風力係数に応じてm²当たりのKUMアンカー使用数量を算出して下さい。

KUMアンカー固定図例<代表例>

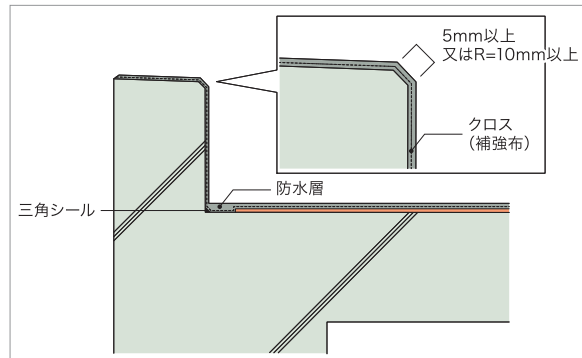


※お問い合わせの際は「下地種類」、「地方の区分」、「地表面粗度区分」、「建物の高さ、幅」、「現場下地のアンカー引き抜き強度」等の情報をご用意下さい。

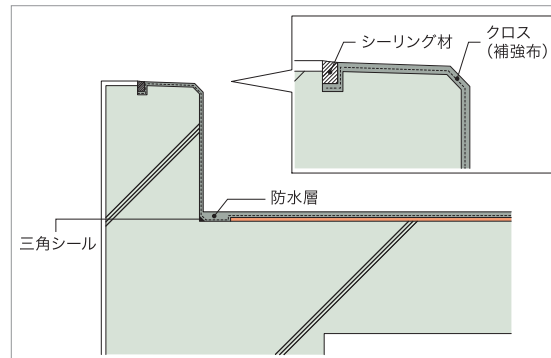
※施行面(屋上)は、一般部、周辺部、コーナ部に分けられ、地域や高さ、立地条件等により固定金具設置間隔(mm)が変わる場合があります。
詳細は、技術資料「機械固定耐風圧性計算方法」をご参照下さい。

各部の納り図

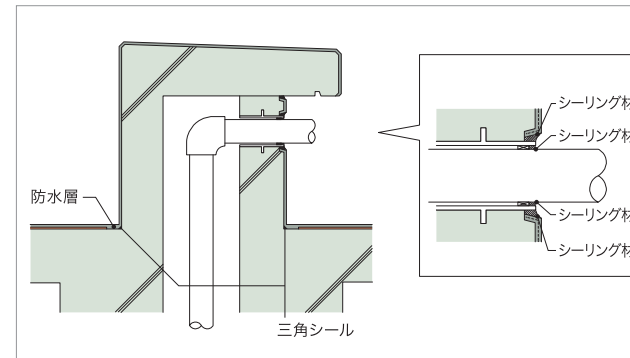
パラペット



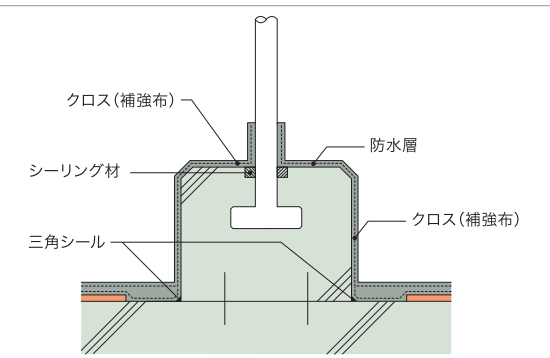
パラペット タイル取り合い



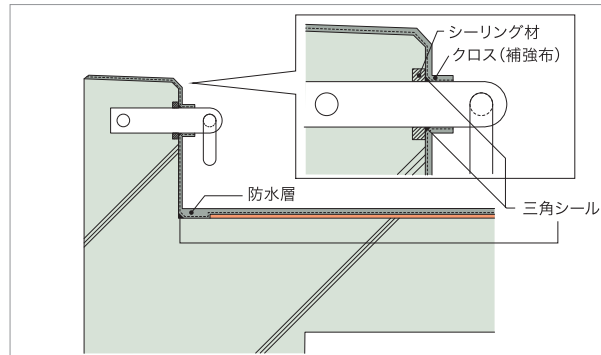
鳩小屋



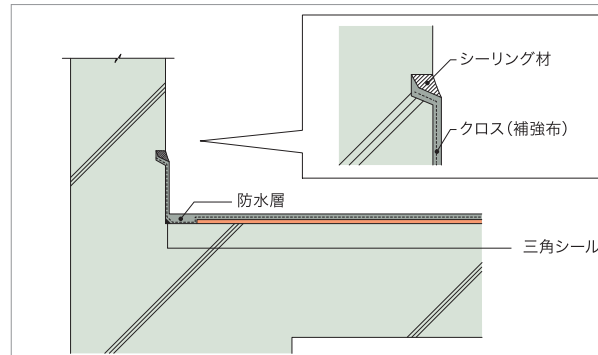
フェンス基礎



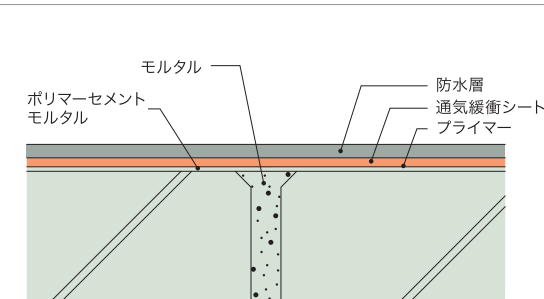
パラペット 丸環まわり



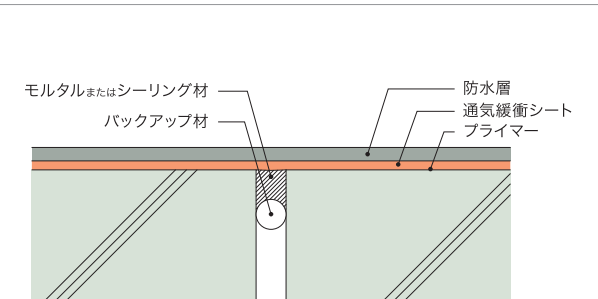
立上り 目地設置



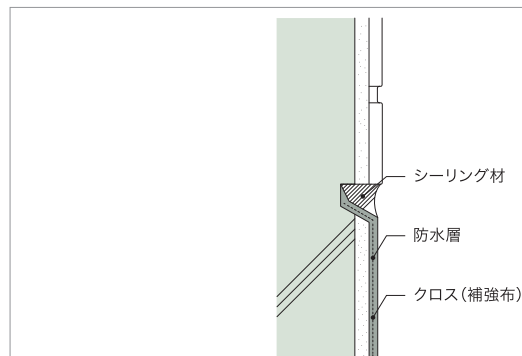
ALC板取り合い



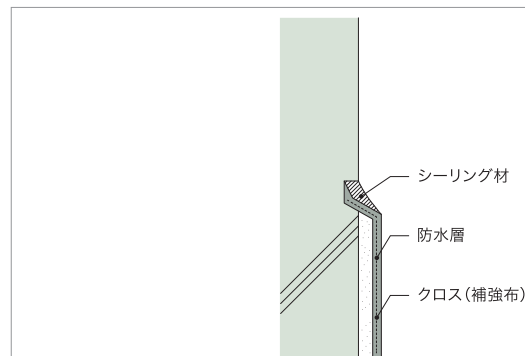
PCa板取り合い(通気緩衝工法の場合)



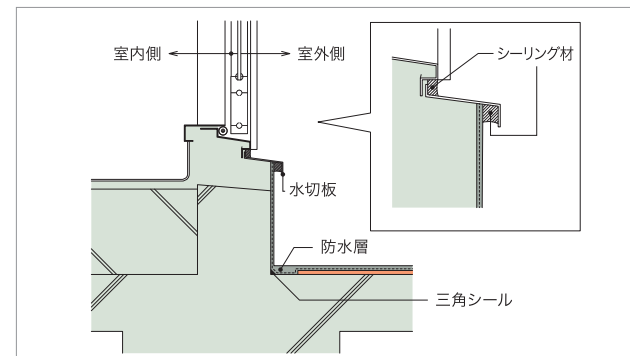
タイル壁取り合い



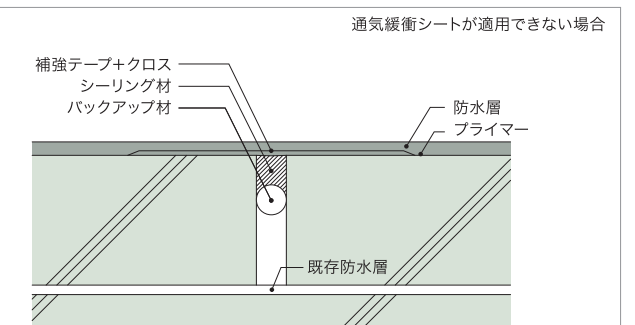
出巾木



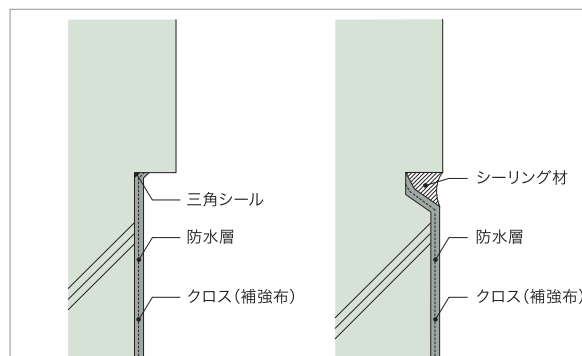
開口部



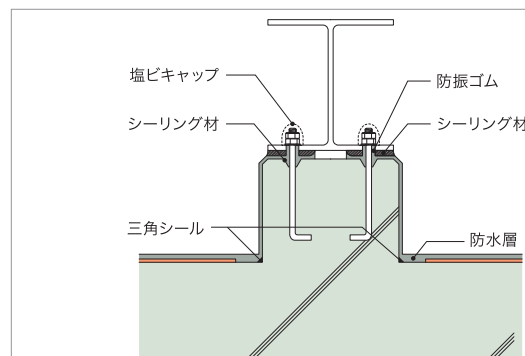
押えコンクリート伸縮目地部(密着工法の場合)



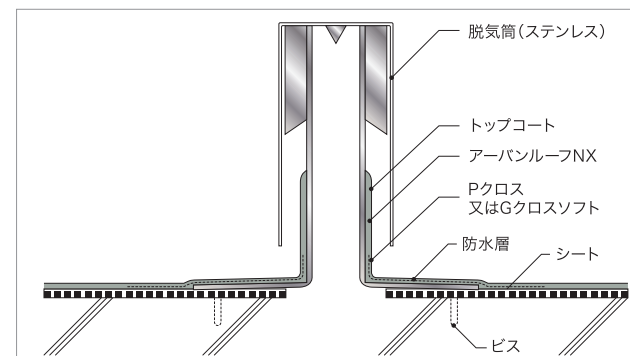
入巾木



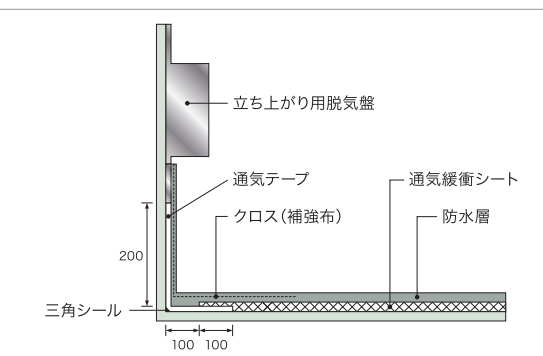
基礎架台



脱気筒回り



脱気盤



防水材料

アーバンルーフ工法に使用される防水材は全てJIS A 6021(建築用塗膜防水材)高伸長形に合格した高品質なウレタン塗膜防水材です。耐久性、耐候性に優れ、建物の長期的な防水に充分機能し、また屋上の有効利用にも役立ちます。

2成分形反応硬化型(環境対応型) アーバンルーフNX

環境対応型アーバンルーフNXは、耐久性、耐用年数、混練性に優れた1:2配合の歩行用2成分形反応硬化型ウレタン防水材です。また当社が独自に開発した技術に応用し、低比重化(硬化物比重1.0)を実現しました。持ち運びが楽になり、塗布量管理も容易です。又、一般的なウレタン塗膜防水材と比較して断熱効果を有するため省エネ、ヒートアイランド対策に貢献します。

[カラーバリエーション]
(※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)

グレー

・荷姿は1種類のみとなります。
(角缶)

荷姿 主剤 5kg 硬化剤 10kg



2成分形反応硬化型(立上り、目止め用) アーバンルーフNX-T

アーバンルーフNX-Tは、立上り塗布用の高粘度タイプのウレタン塗膜防水材です。作業性に優れ、CV-Fシートグリーンの目止め材としても使用できます。プライマー、トップコートとの組合せにより環境対応型防水工法に適用が可能です。

[カラーバリエーション]
(※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)

グレー

・荷姿は1種類のみとなります。
(角缶)

荷姿 主剤 5kg 硬化剤 10kg



1成分形湿気硬化型(環境対応型) EU-ONE

EU-ONEは、1成分形湿気硬化型ウレタン塗膜防水材で、特定化学物質障害予防規則対応品です。プライマー、トップコートとの組み合わせにより環境対応型防水材工法に適用が可能です。また、専用の増粘剤YM-800Tを投入することにより、立上り面の施工が可能です。

[カラーバリエーション]
(※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)

グレー

・荷姿は1種類のみとなります。
(角缶)

荷姿 10kg



防水材料 性状・性能

	EU-ONE	アーバンルーフNX	アーバンルーフNX-T
配合比(質量比)	1成分	1:2	1:2
比重	1.3	1.0	1.1
粘度(Pa.S/20℃)	8~11	7~9	43
次工程施工可能時間(20℃・55%)	18h	16h	18h
硬さ(JIS A)	40~50	53	54
破裂時の伸び(%)	540	600	600
引張強さ(N/mm ²)	3.7	2.6	2.8
引裂強さ(N/mm)	19.3	16	21
可使時間	240分	40~60分	40~60分

アーバンルーフ促進剤

「アーバンルーフNX」用硬化促進剤です。

1セットあたりの最大投入量

材料	最大投入量(g)
アーバンルーフNX	100

荷姿 3kg



EU-ONE用促進剤

「EU-ONE」専用硬化促進剤です。

1缶あたりの最大投入量

材料	最大投入量(kg)
EU-ONE	1

荷姿 1kg



促進剤投入時の硬化時間目安(次工程施工可能時間) 1.5mm厚さ時

	促進剤	5℃	15℃	20℃	30℃
アーバンルーフNX(W)	無し	24h	16h	16h	-
	100g	16h	16h	16h	-
アーバンルーフNX(MS)	無し	48h	24h	16h	16h
	100g	24h	16h	16h	16h
アーバンルーフNX-T	無し	24h	24h	16h	16h
	100g	24h	16h	16h	16h
EU-ONE	無し	48h	24h	24h	24h
	1kg	24h	16h	16h	16h

EU-ONE専用増粘剤

2019年2月発売開始 予定

EU-ONEに添加することにより、立ち上がり面の施工が可能になります。添加量により好みの粘度になります。(特許取得済)

添加量と効果発現時間(目安)

材料	用途	タイプ	添加量(目安)	効果発現時間(分)
EU-ONE (10kg)	高粘度	—	5%(500g / 1缶)	15~20
	中粘度	—	3%(300g / 1缶)	10~15



プライマー・接着剤



プライマー U-300KZ

1成分形汎用ウレタン樹脂プライマーです。コンクリート、モルタル下地に優れた接着性を発揮します。

※1 層間プライマーとしても使用が可能です。
層間プライマーとして使用する場合はプライマーU-300KZ：ウレタン用溶剤＝1：1に希釈して使用してください。
尚、事前に必ず既存のウレタン防水層との接着性試験を実施してください。

荷姿 16kg

環境対応

プライマー U-300K



1成分形速乾型ウレタン樹脂系プライマーです。コンクリート、モルタル下地い優れた接着性を発揮します。防水材の塗継ぎ（層間）プライマーとして使用できます（※） また、脱トルエン、キシレン化に成功し、厚生労働省「室内空気汚染物質ガイドライン」における対象化学物質（14物質）を全て使用しておりません。

※事前に必ず既存のウレタン防水層との接着性試験を実施してください。

荷姿 9kg



プライマー E-100

環境対応型工法専用の2成分形水性エポキシ系プライマーです。

※2 FRP防水材のかぶせ（オーバーレイ）工法に使用する場合は、目粗し後、A剤：B剤：プライマーE-100用粉体＝1：1：2の配合比で攪拌し、0.15kg/m²塗布してください。

荷姿 A剤 4kg B剤 4kg×2セット/缶



アーバンプライマーSS

環境対応型1成分形の湿気硬化型ウレタン樹脂系プライマーです。各種ウレタン塗膜防水材及びHVSシート、UMシート用プライマーとして使用できます。

荷姿 16kg/缶

特殊プライマー



プライマー No.40

金属、塩ビ面との取合い部分に使用可能な1成分形ウレタン樹脂系プライマーです。

荷姿 500ml×10缶/ケース



プライマー HS-100

環境対応型3成分形プライマーです。露出アスファルト防水材のかぶせ（オーバーレイ）工法として、UMシートと併用して使用します。（受注生産品）

荷姿 主剤 5kg 硬化剤 10kg 専用粉体 20kg

接着剤



CV-Fシート用接着材

CV-Fシートグリーンに使用する1成分形クロロプレン系接着剤です。
1成分形のため混合、攪拌が不要です。

荷姿 15kg

下地適用表

下地	プライマー	U-300KZ	U-300K	SS	E-100	No.40	HS-100
コンクリート・モルタル		○	○	○	○	○	○
ウレタン防水		○※1	○		○		
塩ビシート						○	
ステンレス						○	
陽極酸化アルミ						○	
鉄						○	
タイル						○	
FRP					○※2		
砂付アスファルト							○

通気緩衝シート／プライマー・接着剤適用表

シートの種類	CV-Fシートグリーン	UMシート	HVSシートグリーン
プライマー・接着剤			
U-300K	—	—	—
U-300KZ	—	○	○
E-100	—	—	—
アーバンプライマーSS	—	○	○
CV-Fシート用接着剤	○	—	—

標準塗布量・防水材適用

防水材	プライマー	U-300KZ	U-300K	SS	E-100	No.40	HS-100
標準塗布量 (kg/m ²)		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0
アーバンルーフNX		○	○	○	○	○	○
アーバンルーフNX-T		○	○	○	○	○	○
EU-ONE		○	○	○	○	○	○

プライマーHS-100

				ウレタン系
				3成分形
可使時間 min	20℃			60
	35℃			40
オープンタイム				18時間～2日
接着性	HS-100上打ち	アスファルト	N/cm	10.0
		スレート板	N/cm	10.0
		砂付ルーフィング	N/cm	8.0
	HS-100下打ち	UMシート	N/cm	15.0
	引張強度		N/cm	0.50
	伸度		%	80

施工要領（例：UM-NX3E工法）

- ① プライマーHS-100を必ず規定の配合比（主剤：硬化剤：専用粉体＝1：2：4）で攪拌し、金ゴテ等で均一に塗布する。（塗布量の目安1kg/m²）
- ② 規定のオープンタイム（18時間～48時間）以内にUMシートを貼り付ける。
- ③ UMシートジョイント部にHVSシート用ジョイントテープを貼り付け、シートジョイント短辺部には更にUMシート用補強クロスを貼り付ける。端末部分にはUMシート用端末テープ、補強クロスを貼り付ける。
- ④ ウレタン防水材を規定量塗布する。
- ⑤ トップコートEを規定量塗布する。

詳細は施工要領書をご参照ください。
※立上り部の露出アスファルトは撤去して下さい。

トップコート

ウレタン塗膜防水層を紫外線や熱、摩耗等による劣化から保護します。防水層の外観向上や仕上げ面の性能に応じて各種ラインナップをご用意しています。

標準



アーバントップH

耐候性に優れ耐摩耗性を併せ持つ2成分形アクリルウレタン系保護塗料です。艶無し、艶有りの2種の仕上げタイプを準備しています。
※艶有りタイプは受注生産となります。

荷姿 主剤 6kg 硬化剤 8kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)		
● グレー	● ライトグレー	● グリーン

高反射タイプ

熱射反射率50%以上の高反射タイプの防水用保護塗料です。ヒートアイランド対策に貢献します。トップコートSは環境対応品です。



アーバントップH シャネツ

耐候性に優れ、耐摩耗性を併せもつ2成分形の汎用アクリルウレタン系高反射(遮熱)塗料です。(艶有りのみの設定です。)

荷姿 主剤 6kg 硬化剤 8kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)	
● ライトグレー	● ライトグリーン(受注生産色)



トップコートS

耐候性に優れた2成分形の環境対応型アクリルウレタン系高反射(遮熱)塗料です。
トップコートSは0.1kg/m²+0.1kg/m²の2回塗り仕様となります。1層目と2層目のトップコートSのオープンタイムは下記表を目安としてください。

気温(℃)	5℃	20℃	35℃
オープンタイム(時間)	5~24	3~24	1~24

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)	
● ライトグレー	● ライトグリーン(受注生産色)

高耐候タイプ

耐紫外線に対して高い性能を持つフッ素樹脂系及びアクリルシリコン樹脂系の保護塗料です。従来のアクリルウレタン系に比べ塗り替えサイクルの長期化が図れライフサイクルコストの低減が図れます。



トップコートFフッソ

高耐候性を持つフッ素樹脂系のトップコートです。汎用トップコートに比べ塗り替え期間が大幅に延長できます。

荷姿 主剤 2kg 硬化剤 6kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)	
● グレー	● ライトグレー



アーバントップSR

アクリルシリコン系の高耐候トップコートです。弱溶剤タイプで環境対応工法にも適用します。

荷姿 主剤 6kg 硬化剤 9kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)		
● グレー	● ライトグレー	● グリーン(受注生産品)

環境対応タイプ

溶剤を使用していない水性タイプです。都市再生機構仕様や環境対応工法で使用します。



トップコートE

耐候性に優れた水性アクリルウレタン系トップコートです。環境対応型工法に使用します。
トップコートEは0.1kg/m²+0.1kg/m²の2回塗り仕様となります。
1層目と2層目のトップコートEのオープンタイムは下記表を目安としてください。

気温(℃)	5℃	20℃	35℃
オープンタイム(時間)	5~24	3~24	1~24

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)		
● グレー(受注生産品)	● ライトグレー	● グリーン(受注生産品)

その他

耐候性に優れた骨材入りのアクリルエマルジョン系トップコートです。軽歩行仕様となります。



アーバントップA

耐候性に優れた骨材入りアクリルエマルジョン系トップコートです。軽歩行仕様となります。都市再生機構で使用します。

2019年2月発売予定です。 荷姿 18kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)	
● グレー(受注生産品)	



アーバントップAシーラー

アーバントップA専用下塗り材です。アーバントップA施工時は必ず事前に塗布してください。

2019年2月発売予定です。 荷姿 16kg



トップコートAC

SP工法等の使用条件が過酷な部位に使用するアクリルウレタン系です。2成分形溶剤タイプです。

荷姿 主剤 3kg 硬化剤 12kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)	
● グレー(受注生産品)	● グリーン(受注生産品)



トップコートUシルバー

耐候性に優れたウレタン系アルミペイントです。非歩行仕様となります。

荷姿 18kg

[カラーバリエーション] (※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。)	
● シルバー(受注生産品)	

防水材	トップコート	H	Hシャネツ	S	Fフッ素	SR	AC	A(Aシーラー)	E	Uシルバー
標準塗布量(kg/m ²)		0.2	0.2	0.1×2	0.2	0.2	0.2×2	0.5×2(0.15)	0.1×2	0.2
仕上げ状態		艶無し/艶有り	艶有り	艶有り	艶有り	艶有り	艶なし	骨材入り	艶有り	シルバー
アーバンルーフNX		○	○	○	○	○	○	○	○	○
アーバンルーフNX-T		○	○	○	○	○	○	○	○	○
EU-ONE		○	○	○	○	○	○	○	○	○

粗面仕上げにする場合は、専用骨材(フェライト又はエストップ#20)を所定量(重量比3%目安)添加してください。

副資材

補強クロス

G-クロス



平場用ガラス繊維クロスです。

荷姿 1.04m×100m巻

G-クロス ソフトタイプ



平場用および立上り用ガラス繊維クロスです。

荷姿 1.00m×100m巻

UMシート用補強クロス



通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」用補強クロスです。シートの短手方向（幅方向1.0m）のジョイントテープの上から貼り付けます。

荷姿 140mm×50m巻

Pクロス

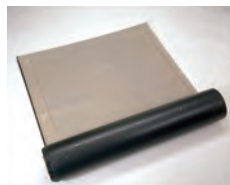


平場用及び立上り用ポリエステルクロスです。ソフトタイプです。

荷姿 1.02m×50m巻

通気緩衝シート

アーバンルーフUMシート



表層に防水性のある特殊フィルムを採用したため、仮防水機能がある通気緩衝シートです。シート裏面（コンクリート被着面）に自着層（粘着層）があるため、プライマー塗布後、シート貼り付けが可能です。

荷姿 1.04m×15m巻

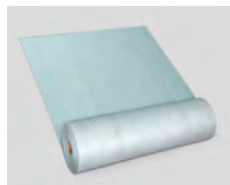
アーバンルーフHVSシートグリーン



通気層に不織布を用い、表面に耐水性がある特殊フィルム層を採用したため、仮防水機能がある通気緩衝シートです。シート裏面（コンクリート被着面）に自着層（粘着層）があるため、プライマー塗布後、シート貼り付けが可能です。

荷姿 1.04m×25m巻

アーバンルーフCV-Fシートグリーン

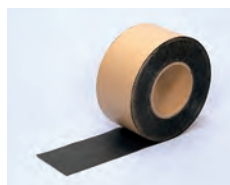


通気層に不織布を用いた穴有り通気緩衝シートです。CV-F工法に使用します。

荷姿 1.00m×50m巻

テープ

UMシート用端末テープ



通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」および「アーバンルーフHVSシートグリーン」に使用する端末テープです。

荷姿 75mm×25m巻

アーバンルーフジョイントテープ



通気緩衝シート「アーバンルーフCV-Fシートグリーン」に使用するジョイントテープです。

荷姿 50mm×50m巻

テープ

UMシート用ジョイントテープ



通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」および「アーバンルーフHVSシートグリーン」に使用するジョイントテープです。

荷姿 30mm×50m巻

HVSシート用ジョイントテープ



通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」および「アーバンルーフHVSシートグリーン」に使用するジョイントテープです。

荷姿 50mm×50m巻

その他

アーバンルーフステンレス脱気筒



通気緩衝工法用の脱気筒です。（50m²あたり1個を目安に設置してください）

荷姿 1ヶ/箱
（台座直径×220mm 高さ200mm） ※ABS樹脂・ステンレスキャップ付き

アーバンルーフベンチレーションSP



SP工法用の脱気筒です。（50m²あたり1個を目安に設置してください）

荷姿 1ヶ/箱
（台座200mm×120mm 高さ200mm） ※アルミ鋳造品

フェライト



粗面仕上げ用骨材です。（添加量は3%（重量比）としてください）

荷姿 500g×12袋/箱

エストップ#20



粗面仕上げ用ゴムチップです。（添加量は3%（重量比）としてください）

荷姿 12kg/袋

アーバンルーフ立上り用脱気盤



立上り部用ステンレス脱気盤です。脱気筒の設置が困難な歩行頻度が高い箇所（ルーフバルコニー等）に使用します。

荷姿 10ヶ/箱 ステンレス
脱気盤 高さ150mm 幅140mm 通気テープ 幅45mm 長さ400mm

アーバンルーフクイック急NB



1成分形速乾下地処理用シーリング材です。

荷姿 320ml×10本/箱

アーバンルーフ減粘材ECO



防水材の粘度低減剤です。平場のレベリング性向上効果があります。環境対応仕様です。

荷姿 16kg/缶

材料技術資料

1.防水材

JIS A 6021 (屋根用塗膜防水剤) による試験結果

試験項目				EU-ONE	アーバンルーフNX	アーバンルーフNX-T	JIS A6021 ウレタンゴム系高伸長形規定		
引張性能	引張強さ (N/mm ²)	試験温度	-20℃	7.8	5.2	7.3	2.3以上		
			23℃	3.7	2.6	2.8	2.3以上		
			60℃	3.1	2.1	2.7	1.4以上		
	破断時の伸び率 (%)	試験温度	23℃	540	617	600	450以上		
	抗張率 (N/mm)	試験温度	23℃	406	317	332	280以上		
			-20℃	397	316	348	250以上		
			23℃	360	389	315	300以上		
	破断時のつかみ間の 伸び率 (%)	試験温度	60℃	245	259	262	200以上		
引裂性能			引張強さ (N/mm)		19.3	15.0	21.0	14以上	
加熱伸縮性能			伸縮率 (%)		-0.1	0.5	0.2	-4.0以上1.0以下	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)		加熱処理	103	90	141	80以上		
			促進暴露処理	103	78	159	60以上		
			アルカリ処理	115	103	126	60以上		
			酸処理	109	93	126	80以上		
	破断時の 伸び率 (%)		加熱処理	520	533	575	400以上		
			促進暴露処理	500	467	600	400以上		
			アルカリ処理	510	650	550	400以上		
			酸処理	490	567	550	400以上		
伸び時の劣化形状		加熱処理	異常なし	異常なし	異常なし	いずれの試験片にも ひび割れ及び著しい 変形があってはならない			
		促進暴露処理	異常なし	異常なし	異常なし				
		オゾン処理	異常なし	異常なし	異常なし				
たれ抵抗性能		たれ長さ (mm)	—	—	0	いずれの試験片にも あってはならない			
		しわの発生	—	—	変化なし				
固形分		主剤	99.8	99.0	99.0	表示値 ±3.0			
		硬化剤		92.0	92.0	表示値 ±3.0			
硬化物密度 (Mg/mm ³)				1.3	1.0	1.1	表示値 ±0.1		

※試験結果の「—」は、試験項目外であることを示します。

2.防水材の温度仕様

防水材は使用される温度に応じたタイプを用意しています。ご使用になる温度に基づき、下記より適したタイプを準備しています。

アーバンルーフNX												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A剤	共通											
B剤	Wタイプ HCタイプ	15℃	MSタイプ				15℃	Wタイプ HCタイプ				

※HCタイプは厳寒仕様となります。

アーバンルーフNX-T、EU-ONE												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
MSタイプ												

※EU-ONEは通年タイプとなります。低温時は硬化促進剤を添加してください。

3.トップコートの性能

項目		種類	H	F	SR	AC	S	E	備考
接着性	密着性		25/25	25/25	25/25	25/25	25/25	25/25	JIS K6400 クロスカット法
耐候性	異常なし		1000時間	5000時間	5000時間	1000時間	1000時間	1000時間	サンシャイン ウェザーメーター

4.プライマー、接着剤の性状

項目	品名	U-300KZ	U-300K	SS	E-100	No.40	HS-100	CV-Fシート用接着剤
外観		褐色液体	褐色透明液体	褐色液体	白色液体	淡黄色液体	A剤 黄色液体 B剤 白色液体	黄褐色液体
荷姿		16kg	9kg	16kg	16kg(x2セット A剤 4kg B剤 4kg)	500cc	A剤 5kg B剤 10kg 粉体 20kg	15kg
仕様		1成分形	1成分形	1成分形	2成分形	1成分形	3成分形	1成分形
主成分		ウレタン樹脂	ウレタン樹脂	ウレタン樹脂	エポキシ樹脂	ウレタン樹脂	ウレタン樹脂	クロロプレンゴム
オープンタイム	5℃	90分～8時間	60分～8時間	90分～8時間	150分～8時間	60分～8時間	180分～8時間	5～10分
	20℃	60分～8時間	30分～8時間	60分～8時間	90分～8時間	30分～8時間	120分～8時間	5～10分
	35℃	30分～8時間	15分～8時間	30分～8時間	60分～8時間	15分～8時間	60分～8時間	3～8分
用途		造膜プライマー※1	速乾プライマー ウレタン 層間プライマー※2 (環境対応型)	弱溶剤系プライマー (環境対応型)	水系プライマー (環境対応型)	取合い部分用プライマー (金属面)	露出アスファルト HS工法用 (環境対応型)	CV-Fシート用接着剤

※1 ウレタン層間プライマーとして使用する場合はU-300KZ:希釈剤=1:1に希釈してください。 ※2 事前に必ず旧ウレタン防水層との接着性試験が必要です。

5.補強クロスの性状

(JIS L 1096一般織物試験方法に準ずる)

項目 \ 種類	G-クロス		G-クロスソフト		UMシート用補強クロス		Pクロス	
材質	ガラス		ガラス		高強度ビニロン繊維		ポリエステル	
織物幅	1040mm		1000mm		140mm		1020mm	
織物長さ	100m		100m		50m		50m	
構成密度	タテ	8.3±0.8	10×10本/2.54cm		タテ	11±1	14×14/2.54cm	
	ヨコ	8.3±0.8(本/25mm)			ヨコ	10±1		
引張強さ	タテ	588以上(N/5cm)	タテ	176以上(N/5cm)	タテ	232以上(N/5cm)	タテ	360以上(N/5cm)
	ヨコ	588以上(N/5cm)	ヨコ	215以上(N/5cm)	ヨコ	233以上(N/5cm)	ヨコ	360以上(N/5cm)
伸び率	タテ	3~4%	タテ	8%以上	タテ	3%以上	タテ	8%
	ヨコ		ヨコ	8%以上	ヨコ	4%以上	ヨコ	8%
厚さ	0.28±0.05		0.15±0.05		0.36±0.05		0.36±0.05	

6.CV-Fシートグリーンの性状と性能

項目		CV-Fシートグリーン
構造		2層構造
材質	通気・緩衝層 遮水層	樹脂コート層
	防水材固着・補強層	ポリエステル長繊維
厚み(全体)		1.5±0.3mm
引張強さ (N/5cm)	タテ	400以上
	ヨコ	240以上
伸び率 (%)	タテ	45以上
	ヨコ	50以上
引裂強さ (N)	タテ	65以上
	ヨコ	55以上
重量(kg)		10.0以上

7.HVSシートグリーンの性状と性能

項目		HVSシートグリーン
1巻の長さ (m)		25mm
幅(mm)		1040±5
厚さ (mm)	シート部	0.3～0.7
	シート+粘着層	1.1～1.9
引張強さ (N/cm)	タテ	100以上
	ヨコ	90以上
伸び率 (%)	タテ	10以上
	ヨコ	10以上
引裂強さ (N)	タテ	60以上
	ヨコ	60以上
重量(kg)		10.0以上

8.UMシートの性状と性能

項目		UMシート
1巻の長さ (m)		15±0.2
幅(mm) <改質アスファルトシール部>		1040±5
厚さ (mm)	シート部	0.8～1.2
	シート+粘着層	1.2～1.6
引張強さ (N/cm)	タテ	135以上
	ヨコ	130以上
伸び率 (%)	タテ	3以上
	ヨコ	3以上
引裂強さ (N)	タテ	40以上
	ヨコ	40以上
重量(kg)		16.5以上

施工手順(例:通気緩衝CV-F工法)

※施工手順の詳細は、別途施工要領書をご参照ください。

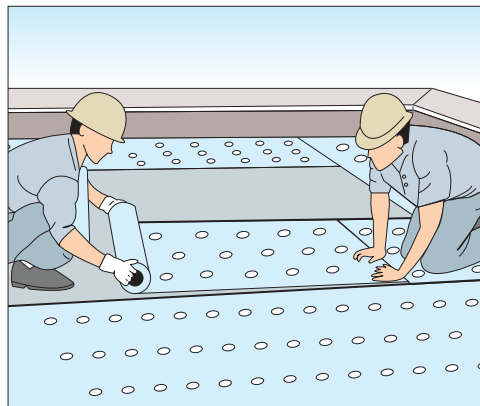
1 接着剤塗布

事前に下地状態の確認を行い、下地調整処理を行います。下地処理完了後、「CV-Fシート用接着剤」をローラー刷毛等を用いて規定量を塗布します。下地への吸い込みの激しい部分には、事前にプライマーU-300KZを塗布・乾燥させてから接着剤を塗布してください。

※接着剤、プライマーはオープンタイムを守って使用してください。

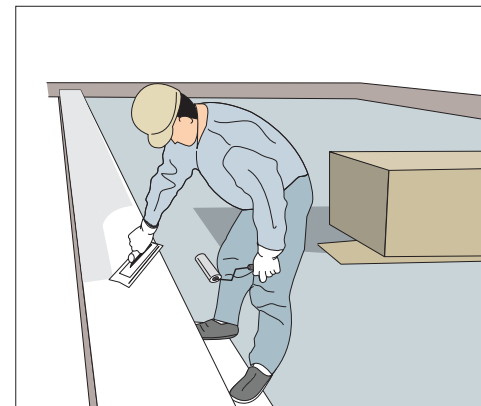


2A CV-Fシートグリーン張り



CV-Fシート用接着剤塗布後、5～10分の間に、CV-Fシートグリーンをたるみ、ねじれがないように張り、すぐに充分な転圧を行い、下地に充分密着させてください。シート同士のジョイントは突き合わせとし、アーバンルーフジョイントテープを張り充分転圧します。ステンレス脱気筒は、取り付け位置のシートを10cm×10cm切り取り、その上に設置し、ビスで固定します。

2B 補強クロス張り(立上り)



下地処理完了後、プライマー「U-300KZ」をローラー刷毛などを用いて、規定量塗布してください。吸い込みの激しい場合、あるいはプライマー塗布後、降雨などにより間隔が空いた場合には再塗布してください。乾燥後にクロスを浮き上がったり、シワがよらないように注意しながら立上り用材料を用いて張りつけます。

3 防水材の混合・攪拌

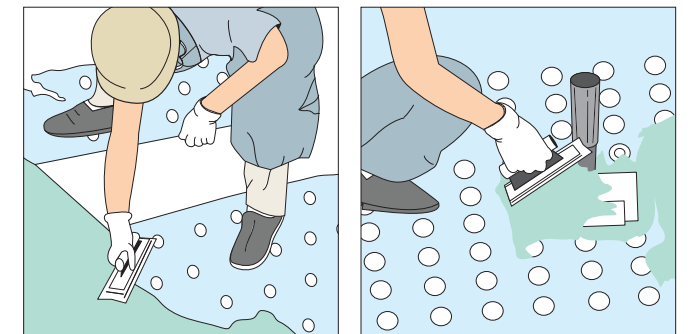
材料の攪拌場所は、周囲が汚れないようにブルーシートなどで養生してください。次に硬化剤を事前に攪拌した後、所定の配合比に基づき計算し、主剤、硬化剤の順に丸い容器に投入し、低速攪拌機にて3～5分間、上下、左右隅々まで混合・攪拌します。

※気温によっては可使時間が変わりますので、仕事量に合わせて混合量を調整してください。



4 アーバンルーフNX-Tによる目止め

アーバンルーフNX-Tを規定の配合比で混合、攪拌し、金ゴテで接着穴を埋め込むように規定量を均一に塗布してください。シート端末も同時に処理します。



5 防水材の塗布(1回目)

材料攪拌後、速やかに床面に流し、金ゴテ、ゴムベラ等で規定量を均一に塗布してください。接着穴が完全に隠れるように塗布します。

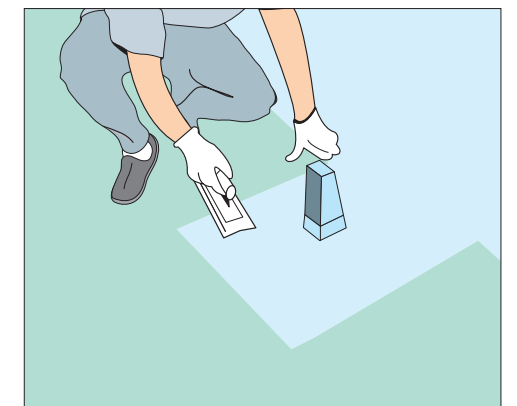


6 防水材の塗布(2回目)

1層目硬化後、塗布面をチェックし、ピンホールおよびフクレがあった場合には撤去し、「クイッ急NB」を充填し、平滑に仕上げます。「クイッ急NB」がタックフリーになった状態で2回目の規定量を均一に塗布します。

※1層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗布表面を清掃し、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を十分に拭きとり、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。



7 トップコート塗布

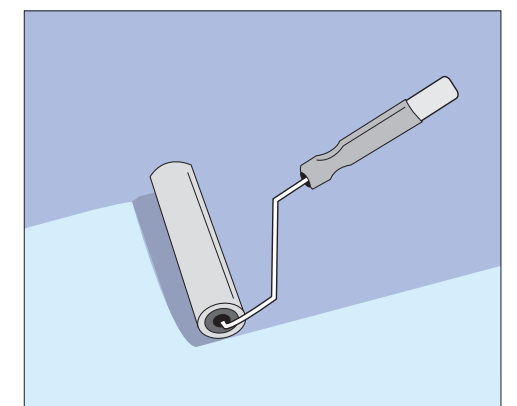
2層目が完全に硬化したのを確認後、塗布面をチェックし、不具合があれば「クイッ急NB」で処理します。「クイッ急NB」タックフリー後、トップコートを規定の配合で計算・攪拌し、ローラー刷毛、スプレー等で均一に塗布します。

※粗面仕上げの場合、トップコート攪拌後、エストップ#20もしくはフェライトを重量比3%混入し、更によく攪拌した後、ローラー刷毛等で施工します。

※ローラー刷毛で施工する場合は、必ずクロス掛けを実施します。

※2層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗布表面を清掃し、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を十分に拭きとり、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。



施工手順(例:通気緩衝UM工法)

※施工手順の詳細は、別途施工要領書をご参照ください。

1 プライマー塗布

下地処理完了後、「プライマーU-300KZ」又は「アーバンプライマーSS」をローラー刷毛等を用いて均一に塗布してください。(塗布量0.2kg/m²)



2 UMシート貼り

プライマーのオープンタイム経過後にUMシートをたるみねじれがないように貼り付けてください。貼り付け後、すぐに十分な転圧※を行い、下地に充分密着させてください。

シート貼りは、立上り部、ドレイン周り等の端部から100mmのところまで貼ります。



シートの長手方向のジョイントは、シート表面の青い線を下にし、赤い線を上にしてオーバーラップさせて貼り付けてください。オーバーラップさせる際、青い線を規準にして貼り付けてください。



ラップ部分にHVSシート用ジョイントテープを貼り充分転圧※します。



2 UMシート貼り

シートの短手方向(幅方向:1.04m)のジョイントは突きつけとし、HVSシート用ジョイントテープを貼り充分転圧※し、その上からUMシート用補強クロスを貼ります。

シート末端部は、UM末端テープを貼り充分転圧※し、その上から補強クロスを貼ります。

ステンレス脱気筒は、取り付け位置のシートを10cm×10cm切り取り、その上に設置しビスで固定します。



3 防水材の塗布

材料攪拌後、すみやかに床面に流し、金ゴテ、ゴムベラ等で規定量を均一に塗布してください。
1層目硬化後、塗布面をチェックし、ピンホールおよびフクレがあった場合には撤去し、「クイッ急NB」を充填し、平滑に仕上げます。「クイッ急NB」がタックフリーになった状態で2回目の規定量を均一に塗布します。

※1層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗布表面を清掃し、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を充分に拭きとり、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。



4 トップコート塗布

2層目が完全に硬化したのを確認後、塗布面をチェックし、不具合があれば「クイッ急NB」で処理します。「クイッ急NB」タックフリー後、トップコートを規定の配合で計算・攪拌し、ローラー刷毛、スプレー等で均一に塗布します。

※粗面仕上げの場合、トップコート攪拌後、エストップ#20もしくはフェライトを重量比3%混入し、更によく攪拌した後、ローラー刷毛等で施工します。

※ローラー刷毛で施工する場合は、必ずクロス掛けを実施します。

※2層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗布表面を清掃し、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を充分に拭きとり、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。



※転圧不足はシート剥離や防水層の破断の原因となりますので、必ず転圧ローラーを使用して念入りに行ってください。
尚、突きつけ部は隙間があるとジョイントテープの接着面積が減るので、必ず隙間を空けない様貼って下さい。

施工手順(例:通気緩衝HVS工法)

※施工手順の詳細は、別途施工要領書をご参照ください。

1 プライマー塗布

下地処理完了後、「プライマーU-300KZ」又は「アーバンプライマーSS」をローラー刷毛等を用いて均一に塗布してください。(塗布量 0.2kg/m²)



2 HVSシートグリーン貼り

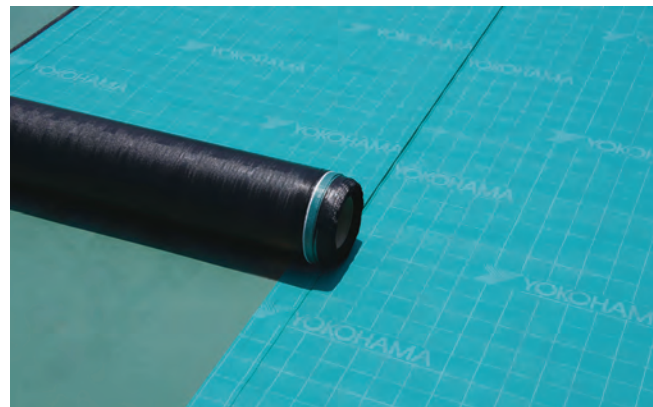
プライマーのオープンタイム経過後にHVSシートグリーンをたるみ、ねじれがないように貼り付けてください。

貼り付け後、すぐに充分な転圧※を行い、下地に充分密着させてください。

シート貼りは、立上り部、ドレイン周り等の端部から100mmのところまで貼ります。



シートの長手方向のジョイントは、シート表面の青い線を下にしてオーバーラップさせて貼り付けてください。オーバーラップさせる際、青い線を基準にして貼り付けてください。



ラップ部分にHVSシート用ジョイントテープを貼ります。

シートの短手方向(幅方向:1.04m)のジョイントは突きつけとし、HVSシート用ジョイントテープを貼り充分転圧※します。



2 HVSシートグリーン貼り

シート端末部は、UMシート用端末テープを貼り、充分転圧※し、その上からUMシート用補強クロスを貼ります。

ステンレス脱気筒は、取り付け位置のシートを10cm×10cm切り取り、その上に設置しビスで固定します。



3 防水材の塗布

材料攪拌後、すみやかに床面に流し、金ゴテ、ゴムベラ等で規定量を均一に塗布してください。

1層目硬化後、塗布面をチェックし、ピンホールおよびフクレがあった場合には撤去し、「クイッ急NB」を充填し、平滑に仕上げます。「クイッ急NB」がタックフリーになった状態で2回目の規定量を均一に塗布します。

※1層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗布表面を清掃し、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を十分に拭きとり、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。



4 トップコートの塗布

2層目が完全に硬化したのを確認後、塗布面をチェックし、不具合があれば「クイッ急NB」で処理します。「クイッ急NB」タックフリー後、トップコートを規定の配合で計算・攪拌し、ローラー刷毛、スプレー等で均一に塗布します。

※粗面仕上げの場合、トップコート攪拌後、エストップ#20もしくはフェライトを重量比3%混入し、更によく攪拌した後、ローラー刷毛等で施工します。

※ローラー刷毛で施工する場合は、必ずクロス掛けを実施します。

※2層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗布表面を清掃し、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を十分に拭きとり、プライマーU-300K(0.1kg/m²)を塗布してください。



※転圧不足はシート剥離や防水層の破断の原因となりますので、必ず転圧ローラーを使用して念入りに行ってください。
尚、突きつけ部は隙間があるとジョイントテープの接着面積が減るので、必ず隙間を空けない様貼って下さい。

施工上の注意点

アーバンルーフは厳しい品質管理のもとで生産された高機能、高性能な商品です。しかしこの品質を十分に発揮するためには、正しい施工方法が必要です。施工上のトラブル、施工後のトラブルを起こさないためにも以下の注意事項をお守りください。

1.下地の確認と調整

1-1 モルタル・コンクリートの場合

●**下地の勾配**
＊平場の下地の勾配は1/100～1/20の範囲に収まるようにしてください。勾配が1/20以上の場合、不均一な防水層になり、1/100以下の場合、水溜りの発生などにより防水層の劣化が早くなりますのでご注意ください。

●**下地の乾燥**
＊乾燥が不十分な場合、下地と防水層の接着不良、ピンホール、フクレ等の原因となります。

下地打設後の養生期間	
下地	養生期間の目安
コンクリート	打設後3週間以上
モルタル	打設後2週間以上

※冬期においては倍の養生が必要になります。

＊降雨後は2日以上乾燥期間をとることを推奨いたします。
＊部分的に湿っている場合はバーナー等でその部分を強制的に乾燥させてください。(火気を使用しますので溶剤系の材料との同時施工は絶対に避けてください)

<水分チェック方法>

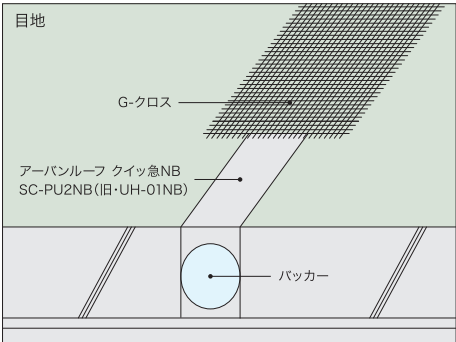
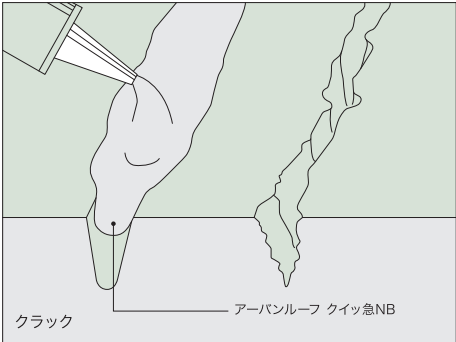
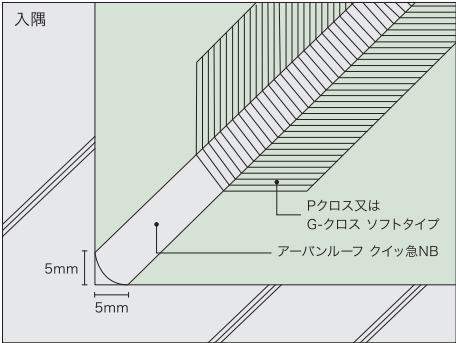
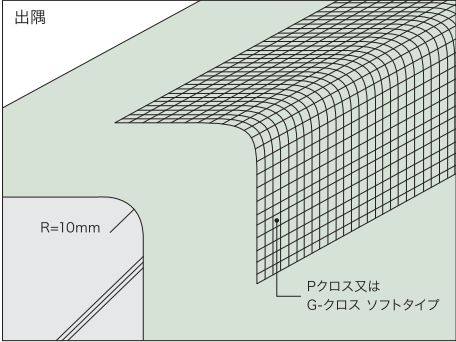
- ①ケット水分計で含水率10%以下であること。
 - ②透明なシート(約1m²程度)を下地面に密着させ、シートの回りにテープを貼り付ける。日照時に数時間放置して、シート内部に水滴が付く、付かないで判断する。
- ※含水率が低い場合でも、急激な温度上昇の場合には、湿気の突き上げがありますので十分に注意してください。
※ドレイン廻り、排水溝は水が溜まりやすいので特に注意が必要です。

●**出入隅**
＊膜厚確保のため、出隅は面取り(5mm程度)、もしくはR=10mm以上で丸く仕上げてください。
＊入隅は必要に応じて「アーバンルーフ クイッ急NB」にて三角シール処理をしてください。
＊出隅、入隅ともに「Pクロス」又は「G-クロスソフトタイプ」を使用して補強張りをしてください。

●**浮き**
＊浮きが小さい場合には、浮いている部分にドリルで穴をあけ、エポキシ系注入材を注入してください。注入材で浮きが抑えられない場合は、はつってください。浮きがあるまま施工すると下地に伴った防水層の浮きが発生します。

●**クラック**
＊1mm未満のクラックは「アーバンルーフ クイッ急NB」をすり込んでください。1mm以上2mm未満のクラックはUカットして「アーバンルーフ クイッ急NB」を充填してください。2mm以上の場合にはUカットして「アーバンルーフ クイッ急NB」を充填し、更に「アーバンルーフ Gクロス」を使用して補強張りしてください。クラックを未使用のまま施工すると、防水材が破断する恐れがあります。

●**目地**
＊目地には必ずパッカーを入れ、「アーバンルーフ クイッ急NB」もしくは「SC-PU2NB(旧・UH-01NB)」を充填してください。
＊シーリング材硬化後、「G-クロス」を使用して補強張りをしてください。(通気緩衝工法の場合は不要です。)

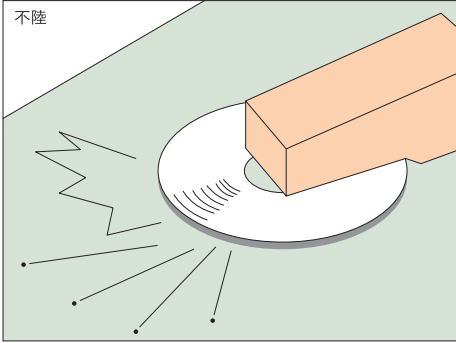
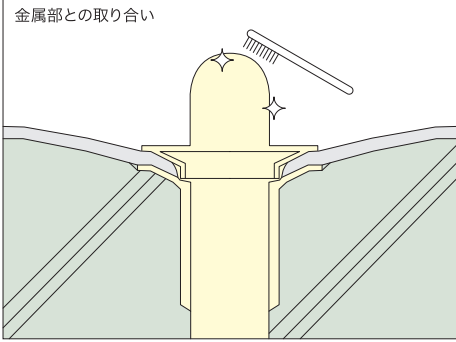


●**汚れ**
＊表面に付着したモルタルのこぼれなどはケレン棒、皮スキ、サンダーなどで除去してください。
＊表面の油分はデッキブラシ、ポリワッシャーを使用して中性洗剤で洗った後、水洗いを充分に行い、十分に乾燥させてください。
＊しみこんだ油分は切り取り、ポリマーセメントモルタルなどで平滑に仕上げてください。汚れがある場合には接着不良が発生します。

●**金属部との取り合い**
＊手すり金具、ルーフトレン、貫通パイプ等の金物まわりは、塗料、錆び等をはがし、モルタル等との取り合い部分をUカットしてハツリ、「プライマーNo.40(CS-100)」を塗布・乾燥後、「アーバンルーフ クイッ急NB」を充填してください。

●**不陸**
＊凸部や突起物はサンダー等で削り、平滑にしてください。
＊小さな凹み、欠け等はプライマーを塗布・乾燥後、「アーバンルーフ クイッ急NB」を充填してください。
＊不陸、凹み等、下地の凹凸が激しい場合は、ポリマーセメント系下地処理材にて平滑に調整してください。(塗布後の乾燥期間は充分に取ってください。)これを充分に行わない場合、意匠上の問題(非平滑、ピンホール、フクレ等)や膜厚の確保に支障をきたすことがあります。

●**脆弱層**
＊レイタンス、劣化等で表面がもろい部分は、ケレン棒、サンダー、金ブラシ等で除去し、固くて丈夫な下地を出してください。脆弱層除去後、ポリマーセメント系下地処理材にて平滑に調整してください。(塗布後の乾燥期間は充分に取ってください。)これを充分に行わない場合、意匠上の問題(非平滑、ピンホール、フクレ等)や膜厚の確保に支障をきたすことがあります。



1-2 既存の露出防水材がある場合

ウレタン防水材は、その多くが改修工事向けに使用されています。その場合、既存の防水層の種類によって下地処理方法が異なりますので、下記表をご参照の上、適切な処理をしてください。

既存防水材の種類	処理方法	
	下地処理方法	
アスファルト※2	撤去	ケレン棒、皮スキ等で旧防水層を削り取る
ルーフィング		アスファルトプライマー層部分まで削り取る
砂付アスファルト※1 ※2	撤去	ケレン棒、皮スキ等で旧防水層を削り取る
ルーフィング		アスファルトプライマー層部分まで削り取る
ゴムアスファルト※2	撤去	下地をサンダーで削り取る
シート		
加硫ゴムシート※2	撤去	下地をサンダーで削り取る
塩化ビニルシート※2	撤去	下地をサンダーで削り取る
タールウレタン防水	撤去	ハツリ機等で旧防水層を削り取る
カラーウレタン防水	そのまま※1 ※3	表面の塵、汚れを取る
ノンタールウレタン防水		浮き、フクレ、破断部分は切り取る

※1 砂付アスファルト平場は、HS工法が使用できます。
既存防水材やトップコートによっては接着不良を起こす可能性がありますので、事前に接着性試験を実施してください。
※2 各既存防水平場は、KUM工法が使用できます。
※3 接着性試験で接着不良が確認された場合は既存防水材をサンダーで削り取ってください。

<接着試験方法>

①トルエン等を使用し下地の溶剤清掃を行い、汚れ等を除去する。

②清掃後1時間程度放置し(洗浄溶剤を完全に飛ばす)、プライマーを塗布する。

③24時間養生後、塗布面に2mm間隔で縦方向に6本、横方向に6本切り込みを入れ、2mm²格子を25個作成する。

④格子箇所へセロテープを付着させ、テープを引き剥がし、下地(既存防水材)に付着している格子の数をカウントする。

判定基準

22～25個	接着性良好(そのまま施工可能)
0～21個	接着不良

施工上の注意点

2.材料使用上の注意

2-1 施工時の作業環境

●天候・気温

＊降雨時および降雨直後の施工は、絶対に避けてください。接着不良、ピンホール、フクレ等の原因となります。また、施工後、材料硬化までの間に降雨が予想される場合も、施工を避けてください。硬化途中に降雨があった場合、硬化不良、フクレやトップコートの黄変などを引き起こす恐れがあります。

＊ウレタン防水材施工可能な最低温度は5℃です。5℃未満では硬化不良やトップコートの黄変などを起こしますので、施工を避けてください。

＊気温35℃、湿度80%を超える場合、もしくは下地温度が55℃を超える場合は、施工を避けてください。接着不良やフクレ、トップコートの黄変などを引き起こす原因となります。

＊強風時には硬化前にゴミなどの付着が考えられますので、施工を避けてください。トップコートをスプレー塗布する場合には、風により周囲を汚してしまう可能性がありますので、施工は避けてください。



2-2 材料使用上の注意

●材料の取扱い

＊2成分形材料(防水材、トップコート)の場合、硬化剤成分が分離したり、配合比の比重差により成分の沈降、浮きなどが起こる性質があります。混合時はまず硬化剤のみを上下逆さまにし十分に振った後、攪拌機を使用して、内容物が均一になるよう攪拌してください。内容物が均一でない場合、硬化不良、分散不良や色違い、色ムラ等を引き起こす可能性があります。また、内容物が分離していた場合でも、均一に混合し使用することで物性等への影響がなくなります。

＊2成分形材料の場合、規定の混合比を守り、かつ低速攪拌機を使用して充分な攪拌(3～5分)を行う必要があります。攪拌が不十分である場合、接着不良や硬化不良となり、トップコートの黄変、早期のチョーキングを引き起こす原因となります。

＊「EU-ONE」は1成分形のため、攪拌の必要はありません。ただし缶底に成分が沈降している場合がありますので、開缶後ヘラ等で軽くかき混ぜてからご使用ください。

＊「EU-ONE」は完全硬化を確認してから次工程を施工してください。深部まで硬化していない場合、トップコートのシワやリフティング、黄変等の不具合の原因となります。

＊プライマーのオープンタイムは必ず確保してください。また、プライマー塗布した当日に施工を実施してください。オープンタイムが不十分な場合、またはプライマー塗布から施工まで一昼夜空いた場合、接着不良を引き起こす場合があります。

＊ウレタン防水施工からトップコート塗布まで3日以上空いた場合、または降雨にあった場合、層間プライマーを再塗布してください。プライマーを使用しない場合接着不良を引き起こす可能性があります。

※トップコートFフッソの上に層間プライマーを使用するときは弊社販売員にご確認ください。

＊トップコートの硬化途上にトップコートを塗り継いだ場合、トップコートにシワが発生する場合があります。3時間以上間隔が空いた場合、塗り継ぎは翌日以降としてください。

＊トップコートE、トップコートSは材料温度の上昇や、風の影響で皮張りを起こし易くなりますのでご注意ください。

＊トップコートを薄く塗布すると、部分的にハジキが出たり、耐候性の低下がおこる可能性がありますので必ず規定量を塗布してください。

＊トップコートE、トップコートSの塗膜は乾燥工程において色ムラのような現象が起こりますが異常ではありません。乾燥後は未硬化時と比較して濃い色調に仕上がります。

＊トップコートE、トップコートS施工時(未乾燥時)に汗などの水滴が塗膜上に落ちると色浮きを起こしますのでご注意ください。

＊トップコートE、トップコートSの主剤、硬化剤混合時に、塗料温度が35℃以上になると、艶が出なくなることがありますのでご注意ください。

＊トップコートE、トップコートSの塗布には必ず水性塗料専用の塗装工具を使用してください。

＊材料を開缶したり攪拌する作業場は、ブルーシート等で養生し材料等が直接下地に付着しないようにしてください。

＊攪拌機、攪拌容器及び施工道具は常にキレイにしておいてください。道具が汚れていると異物の混入等の原因となります。

＊ウレタン防水材料は長期間空気に触れていると変質することがありますので、材料は使用直前に開缶し、当日中に必ず使い切ってください。止むを得ず開缶状態のまま保存する場合は必ずフタをし、テープ等で余分な空気及び水分の流入が無いようにし翌日中に必ず使い切ってください。なお1成分形材料は空気に触れている部分より硬化していきますので当日中に必ず使い切ってください。

＊材料等は直射日光及び雨水がかからない場所にて保管してください。

＊ウレタン防水材、トップコート施工時及び施工直後に降雨等で水が混入した場合、変色及び硬化不良を起こす可能性がありますのでご注意ください。

＊ウレタン防水材は、必ず規定の厚みを確保するように施工してください。(ウレタン防水材の破断、シワ・ハガレが発生する可能性があります。)

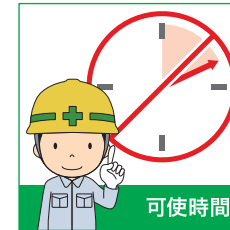
●可使時間と粘度調整

＊可使時間は、材料の液温と密接な関係にあります。夏期は温度上昇により可使時間が短くなりますので、材料の保管については風通しのよい日陰に置くなどして、液温の上昇を防いでください。また、冬場は硬化遅延を起こしますので、材料を室内等の暖かい場所に置か、使用前に温める等の処置をしてください。

＊可使時間内に必ず防水材を施工してください。可使時間を越えて施工すると、コテムラ等の不具合が発生する場合があります。

＊「EU-ONE」は1成分形のため、空気と触れている面の表面から硬化が始まりますので、開缶後は素早く使い切るようにしてください。また、材料同士の塗り継ぎも素早く行ってください。

＊原則的に希釈は行わないでください。止むを得ず施工時に粘度調整をする場合、厚み管理を行った上で、ウレタン用希釈剤の添加量を、主剤と硬化剤の合計量の5%を超えない範囲としてください。5%を超えると、接着不良、硬化不良、硬化遅延、ベナードセル(表面の平滑不良)等の外観不良、ウレタン塗膜劣化の促進、トップコートの変色、接着不良や早期チョーキングを引き起こす恐れがあります。また、粘度調整はウレタン防水材のみとし、トップコートに対しては絶対に行わないでください。トップコートを希釈した場合、接着不良、トップコートの早期チョーキング、変色を引き起こす恐れがあります。



＊トップコートはウレタン防水硬化後に塗布してください。硬化が不十分な状態でトップコートを塗布すると、リフティング(毛羽立ち)、トップコートの早期チョーキング、変色や接着不良等の不具合を引き起こす恐れがあります。タックが抜けていても充分硬化しているかどうか必ず確認して下さい。

＊アーバンルーフ促進剤の添加量はP35を参照してください。上限を超えて使用した場合、物性の低下、軟化や黄変等の変色を引き起こす恐れがあります。

＊色が薄いトップコートを使用した場合、変色しやすくなります。

本書は、適切な条件のもと、適切な保管・処理・使用を前提とした場合の製品性能、一般的な施工方法・施工手順等を記載したものにすぎません。個別・具体的な工事における、当該工事条件下での製品の選択、保管・処理・使用、施工方法・手順等は、専門家である使用者たる施工業者様の責任であります。

2-3 施工時の安全管理と注意事項

●施工に関しては、立入禁止の札を用意し、わかりやすい所に立ててください。異業種施工店との共同工事の場合は、工程等を元請会社とよく調整してください。



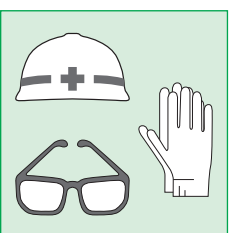
●ウレタン防水の材料は、危険物が多く火気厳禁です。施工に際しては火気厳禁の札を用意し、わかりやすい所に立ててください。また、喫煙は場所を決めて周囲の安全を確保してからおこなってください。



●換気の悪い所で施工する場合は、有機溶剤マスクを着用するほか、局所排気装置等で十分に換気を行ってください。



●作業時には、保安帽、保護手袋を着用してください。また、混合攪拌時には目に入らないように、保護眼鏡を着用してください。尚、屋上等の高所作業になりますので、安全帯を着用し、安全の確保に努めてください。



●施工後はよく手を洗い、十分にうがいをしてください。



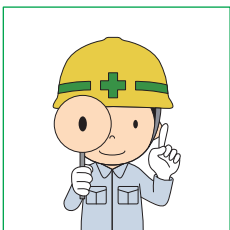
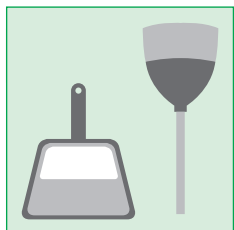
●余った材料は必ず硬化させてから使用済缶、ウエス、手袋等と一緒に専門処理業者へ委託して処理してください。



維持管理のお願い

アーバンルーフ工法は、厳重な品質管理のもとで製造された材料と、専門に教育された施工店の工事によってその性能を発揮します。この防水性能を長年にわたって維持する為に、次の維持管理をお願いします。

1.定期的に屋根や防水面の清掃を行ってください。
特に排水口廻りと隅の部分の泥、枯れ葉等をよく除去してください。



2.3ヶ年毎に次のように表面状態の点検を行ってください。
異常が認められた場合は、施工店にご相談ください。

- ①保護塗装が薄くなっている箇所がないか、剥離している箇所がないか。
- ②保護塗装にひび割れが生じていないか。白化していないか。
- ③保護モルタルに浮き、欠損箇所がないか。
- ④防水層が、フクれている箇所はないか。



3.防水層は鳥害を受ける場合があります。

4.保護塗料は3年に1度(トップコートFフッソ、アーバントップSRは10年に1度)を目安に塗り替えを行ってください。(有償工事)

露出防水層の使用上の注意

1.防水層の上を歩行する場合は、ハイヒール、スパイクシューズ等、防水層を損傷するおそれのある履き物を使用しないでください。

2.防水層は可燃物ですので、その上では火気を使用しないでください。たばこの吸い殻の投げ捨てや、花火等はしないでください。

3.防水層の上にガソリン、溶剤、不凍液等をこぼさないでください。防水層が軟化して、フクレ・剥がれが生じます。

4.防水層の上では、重い箱をひきずったり、角鉄材等損傷を与える物を落とさないでください。
防水層が剥離したり損傷を受けます。

5.防水層の上に椅子、テーブル等を置く場合は、脚をゴムキャップ等で保護してください。また、角のある物を置く場合は、下にゴム板等を敷いてください。また、カッター等鋭利な物で傷つけないでください。尚、ゴム板等は材質に注意して下さい。変色や軟化の恐れがあります。

6.防水層の上でゴルフの練習や、一輪車、ローラースケートの練習は止めてください。
クラブや車輪で防水層を傷つけることがあります。

7.防水層の上で犬、鶏等のペットを飼わないでください。

8.防水層の清掃の際は、中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。また、清掃の際は、水で濡れていますのでスリッパ等による転倒に充分ご注意ください。

9.クーリングタワーの防藻剤、殺菌剤等の種類によっては防水層に損傷を与えますので注意してください。

取扱い上の注意事項

●事故防止上の注意事項

- 1.火気厳禁：火気に近づけたり、火気のある所で使用しないでください。
- 2.取り扱う場所には局所排気装置を設けてください。
- 3.取扱い中は保護眼鏡、保護手袋、さらに必要に応じ防毒マスクまたはホースマスクを着用してください。

●応急処置

- 1.目に入った場合は、速やかに流水で15分以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。
- 2.皮膚に付着した場合は、速やかに大量の水と石鹸で完全に洗い、また、多量の蒸気を吸収した場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- 3.飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診察を受けてください。尚、無理に嘔吐させないこと。

●使用上の注意

- 1.容器から出し入れするときは、こぼさないようにしてください。
- 2.液がこぼれた場合は、砂、アルコール、アンモニア水等の中和剤を散布した後、拭い取る等除去してください。
- 3.主剤と混合剤の混合比は、規定の比率を守ってください。
- 4.主剤と混合剤の混合は、電動攪拌機等を使用してよく混ぜてください。
- 5.主剤と混合剤の混合、硬化剤の取出し、小分け空缶をつぶす等の作業をする場合は、内容物が地下に浸透しないように、シート等を敷いてから作業を行ってください。
- 6.塗布は、コテ・ゴムベラ等で均一に塗布してください。
- 7.主剤と硬化剤を混合後は、徐々に硬化反応が始まりますので、使用可能時間内に塗布してください。
- 8.取扱い後は、手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 9.作業衣等に付着した場合は、その汚れを落としてください。
- 10.商品の取扱い及び注意事項についての詳細は、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

●廃棄

- 1.使用済みの空缶、材料の付いた手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は専門の廃棄処理業者に委託して処理してください。
- 2.缶は使い切ってから、専門の廃棄処理業者に出してください。

●保管

- 1.消防法の危険物ですので、火気に近づけないで、法に則って保管してください。
- 2.危険物の保管には、数量により貯蔵の届出、許可等の手続きが必要な場合があります。
- 3.保管中は、必ず容器を密閉し、直射日光、雨等に当たらないよう屋内に保管してください。
- 4.屋外に保管する場合は、周囲をトタン板等不燃物で囲い、下に板、シートを敷き、かつ全体をシートで被ってください。

アーバンルーフの危険物該当品種(消防法に基づく分類)

品名	消防法	危険等級
EU-ONE	第4類第4石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバンルーフNX-A アーバンルーフNX-T-A	第4類第4石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
プライマーU-300K	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
プライマーU-300KZ	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバンプライマーSS	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
プライマーNo.40	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
アーバントップH-A	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバントップH-B	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
アーバントップHシャネツ-B	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
アーバントップSR-A	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバントップSR-B	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ

品名	消防法	危険等級
トップコートAC-A	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
トップコートAC-B	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
トップコートFフッソ-A	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
トップコートFフッソ-B	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
トップコートTM-A	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
トップコートTM-B	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
トップコートS-A	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
トップコートUシルバー	第4類第2石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバントップAシーラー	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
EU-ONE促進剤	第4類第3石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバンルーフ減粘剤ECO	第4類第3石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
アーバンルーフ促進剤	第4類第3石油類(非水溶性液体)	Ⅲ
CV-Fシート用接着剤	第4類第1石油類(非水溶性液体)	Ⅱ
HS-100 A	第4類第4石油類(非水溶性液体)	Ⅲ

●有効期限(防水材、プライマー、トップコート) 6ヶ月(未開封 / 25℃以下)

アーバンルーフ製品一覧

種別	品名	種類		荷姿	規格/主格	備考
防水材	EU-ONE	1成分形湿気硬化型ウレタン防水材(環境対応型平場用)		10kg/缶	カラーウレタン JIS A6021 高伸長形	角缶タイプ(グレー)
	アーバンルーフNX	2成分形反応硬化型ウレタン防水材(環境対応型平場用)		主剤 5kg、硬化剤 10kg、15kg/セット		
	アーバンルーフNX-T	2成分形反応硬化型ウレタン防水材(環境対応型立上り用)				
プライマー	U-300K	1成分形湿気硬化型ウレタンプライマー(環境対応型)		9kg/缶	ウレタン樹脂	
	U-300KZ	1成分形湿気硬化型ウレタンプライマー		16kg/缶		
	アーバンプライマーSS	1成分形湿気硬化型ウレタンプライマー(環境対応型)		16kg/缶		
	E-100	2成分形水性エポキシプライマー		主剤剤 4kg、硬化剤 4kg×2セット/缶16kgセット	水性エポキシ樹脂	
	No.40	1成分形湿気硬化型ウレタンプライマー		500ml/缶	ウレタン樹脂	
トップコート	アーバントップH艶無し	2成分形反応硬化型保護塗料		主剤 6kg、硬化剤 8kg、14kg/セット	アクリルウレタン樹脂	艶無し(標準品:グレー、ライトグレー、グリーン)
	アーバントップH艶有り					艶有り(受注生産品:グレー、ライトグレー、グリーン)
	アーバントップHシャネツ			主剤 3kg、硬化剤 12kg、15kg/セット		艶有り(標準品:ライトグレー 受注生産品:ライトグリーン)
	トップコートAC					艶無し(受注生産品)
	トップコートUシルバー	ウレタン系保護塗料		18kg/缶	ウレタン系アルミペイント	
	トップコートFフツソ	2成分形反応硬化型保護塗料		主剤 2kg、硬化剤 6kg、8kg/セット	フッ素樹脂系塗料	艶有り(グレー、ライトグレー)
	アーバントップA	アクリルエマルション系保護塗料		18kg/缶	アクリルエマルション	骨材入り(受注生産品)
	アーバントップAシーラー	アーバントップA専用下塗り材		16kg/缶	ウレタン樹脂	
	トップコートE	2成分形水性アクリルウレタン塗料(環境対応型)		主剤 0.5kg、硬化剤 7.5kg×2セット/缶16kgセット	水性アクリルウレタン樹脂	艶有り(標準品:ライトグレー 受注生産品:グレー、グリーン)
	トップコートS	2成分形水性アクリルウレタン塗料(高反射塗料・環境対応型)		主剤 0.5kg、硬化剤 5kg×2セット/缶11kgセット		艶有り(標準品:ライトグレー 受注生産品:ライトグリーン)
	アーバントップSR	2成分形水性アクリルシリコン系塗料(環境対応型)		主剤 6kg、硬化剤 9kg、15kg/セット	アクリルシリコン系	艶有り(標準品:グレー、ライトグレー 受注生産品:グリーン)
副資材	EU-ONE促進剤	EU-ONE専用硬化促進剤		1kg×10缶×/箱		硬化触媒
	EU-ONE専用増粘剤	EU-ONE専用液状増粘剤		1kg/缶		
	アーバンルーフ促進剤	アーバンルーフNX、アーバンルーフNX-T用硬化促進剤		3kg/缶		硬化触媒
	アーバンルーフ減粘剤ECO	EU-ONE、アーバンルーフNX用希釈剤		16kg/缶		粘度低減剤
	G-クロス	補強用クロス		1.04m×100m巻	ガラス繊維	
	G-クロス ソフトタイプ			1.00m×100m巻	ガラス繊維、ビニロン繊維	
	Pクロス			1.02m×50m巻	ポリエステル繊維	
	アーバンルーフジョイントテープ	CV-Fシートジョイント処理用テープ		50mm×50m巻		
	アーバンルーフCV-Fシートグリーン	通気緩衝シート		1.00m×50m巻	不織布2層構造	
	CV-Fシート用接着剤	CV-Fシート用接着剤		15kg/缶	クロロプレン系1成分形	
	アーバンルーフHVSシートグリーン	通気緩衝シート		1.04m×25m巻	不織布、アスファルト粘着層	
	アーバンルーフUMシート	通気緩衝シート		1.04m×15m巻	改質アスファルト	
	HVSシート用ジョイントテープ	UMシート、HVSシートグリーン ジョイント処理用テープ		50mm×50m		
	UMシート用ジョイントテープ	UMシート、HVSシートグリーン ジョイント処理用テープ		30mm×50m巻		
	UMシート用端末テープ	UMシート、HVSシートグリーン 端末処理用テープ		75mm×25m巻		
	UMシート用補強クロス	UMシート用ジョイント補強クロス		140mm×50m巻		
	アーバンルーフ ステンレス脱気筒	脱気筒		1ヶ/箱 台座 直径220mm 高さ200mm	ABS樹脂・ステンレスキャップ付	一般用
	アーバンルーフベンチレーションSP			1ヶ/箱 台座200mm×120mm 高さ120mm	アルミ鋳造品	端部用
	アーバンルーフ立上り用脱気盤	脱気盤		10ヶ/箱 固定用開脚ボルト 4本セット×10袋/箱	ステンレス	立上り用
	エストップ#20	粗面仕上げ用ゴムチップ		12kg/袋	ゴムチップ	トップコートに混入
	フェライト	粗面仕上げ用骨材		500g×12/箱	無機系特殊骨材	
	SPチップ	弾性舗装防水用ゴムチップ		15kg/袋	ゴムチップ	SP-1工法に使用
	アーバンルーフ クイック急NB	1成分形速乾性下地処理用シーリング材		320ml×10本/2箱	ウレタン樹脂	下地処理用
	プライマーE-100用粉体	プライマーE-100専用粉体		4kg×2袋/箱		
	HS-100	露出アスファルト下地UMシート用接着剤		主剤 5kg、硬化剤 10kg、専用粉体 20kg	ウレタン樹脂	(受注生産品)
	KUMアンカー40	UMシート用固定金具		長さ 40mm、ドリル径 8～8.5mm		
	KUMアンカー70	UMシート用固定金具		長さ 70mm、ドリル径8～8.5mm		

※詳細は、製品安全シート(SDS)をご参照ください。